

市民アンケート調査 集計結果速報

目 次

1. 調査概要	2
(1) 調査の目的	2
(2) 対象	2
(3) 調査時期	2
(4) 調査方法	2
(5) 調査項目	2
(6) 配布・回収状況	2
2. 単純集計結果のまとめ（平成 28 年調査との比較結果）	2
3. 単純集計結果（コミュニティバス運行地域）	4
(1) あなた自身のことについて	4
(2) 普段の交通行動などについて	7
(3) 市内路線バス（一畑バス・松江市交通局）の利用状況と満足度について	12
(4) 市内路線バス（一畑バス・松江市交通局）の施策やサービスについて	15
(5) 市内を運行するタクシーの利用について	18
(6) 松江市の公共交通のあり方について	20
(7) コミュニティバスについて	26
4. 単純集計結果（コミュニティバス非運行地域）	30
(1) あなた自身のことについて	30
(2) 普段の交通行動などについて	33
(3) 市内路線バス（一畑バス・松江市交通局）の利用状況と満足度について	38
(4) 市内路線バス（一畑バス・松江市交通局）の施策やサービスについて	41
(5) 市内を運行するタクシーの利用について	44
(6) 松江市の公共交通のあり方について	45
(7) コミュニティバスについて	52

1. 調査概要

(1) 調査の目的

公共交通を利用していない市民を含め、公共交通のサービス水準等に関する最新の市民ニーズを把握し、地域公共交通計画策定の基礎資料とするため。

(2) 対象

住民基本台帳により無作為抽出した 15 歳以上の松江市民 3,960 人（中学生除く）。

なお、地域別の回答者数は、地域別に 50～100 の回答者が得られるよう、母集団人口比で配分した。

(3) 調査時期

2023 年 8 月下旬～9 月 19 日回答期限

(4) 調査方法

- 調査票は、コミュニティバス運行区域と非運行区域に分けて作成した。
- 調査票及び返信用封筒（長 3 封筒）を送付用封筒角 2 封筒に封入封緘し、宛名シールを貼付して対象者に郵送した。
- 調査票の回収は、郵送とオンラインで行った（調査票に OR コードを記載）。

(5) 調査項目

- 個人属性（居住地、性別、年代、自由に使える自家用車の有無、携帯電話や SNS の利用状況等）
- 普段の生活における目的地、利用交通手段
- 公共交通の利用状況、満足度
- 路線バスのサービス改善項目と、改善された場合の利用意向
- レンタサイクル、グリーンスローモビリティ等の利用意向
- 今後の公共交通のあり方、移動手段確保のための市の財政負担への意向
- 自由意見

(6) 配布・回収状況

	コミュニティバス 運行地域	コミュニティバス 非運行地域	合計
配布数	2,041	1,919	3,960
回収数 (うちオンライン回答)	794 (127)	756 (176)	1,550 (303)
回収率	39.0%	39.4%	39.1%

2. 単純集計結果のまとめ（平成 28 年調査との比較結果）

※ 表中の「今回（R5）調査」の列の「○%/△%」の表記は、○%がコミュニティバス運行地域、△%が非運行地域の値をそれぞれ指す。

設問		前回（H28）調査	今回（R5）調査	比較結果
回答者の属性	性別	女性が半数強	女性が半数強	
	年齢	60 歳代が 22.4%、70 歳以上が 27.2%	60 歳代が 19.2%/20.1%、70 歳以上が 43.4%/33.6%	今回の方が高齢者の回答割合が高い
	日常的に自動車の運転をしている	74.1%	77.5%/73.5% 70 歳以上に限定すると、66.0%/56.5%	特にコミバス運行地域で高齢者の運転継続率が高い
	送迎を頼める人がいる	80.7%	84.9%/75.0%	
日常生活における目的別の移動状況	移動の頻度：週 6 日以上	58.8%	48.3%/56.8%	低下
	通勤・通学の頻度：週 4 日以上	94.6%	92.1%/94.4%	大きくは変わらない（週 6 日以上は低下）
	通勤・通学の際の鉄道と路線バスの利用率	鉄道 2.6%、路線バス 8.4%	鉄道 7.1%/1.5%、路線バス 6.3%/12.1%	
	日常的に買い物に出かける人の割合	88.8%	85.7%/86.2%	
	買い物の頻度：週 2 日以上	78.7%	74.4%/83.5%	
	買い物の際の鉄道と路線バスの利用率	鉄道 0.5%、路線バス 4.3%	鉄道 1.1%/0.3%、路線バス 2.0%/3.2%	
	日常的に通院する人の割合	48.3%	57.1%/48.9%	
	通院の頻度：月に 1 日未満	32.6%	45.8%/42.0%	低下
	通院の際の鉄道と路線バスの利用率	鉄道 1.1%、路線バス 10.3%	鉄道 1.2%/0.0%、路線バス 3.8%/5.9%	路線バスは若干低下か
市内路線バスの利用状況と満足度	市内路線バスの利用頻度：ここ数年利用していない	47.2%	71.5%/50.2%	若干上昇か
	バスサービスの満足度：低い項目 3 つ	休日の便数、最終便の便数、バス停の待合環境	平日の便数、バス停の待合環境、休日の便数/バス停の待合環境・最終便の時刻・平日の便数	平日の便数の満足度が低下か

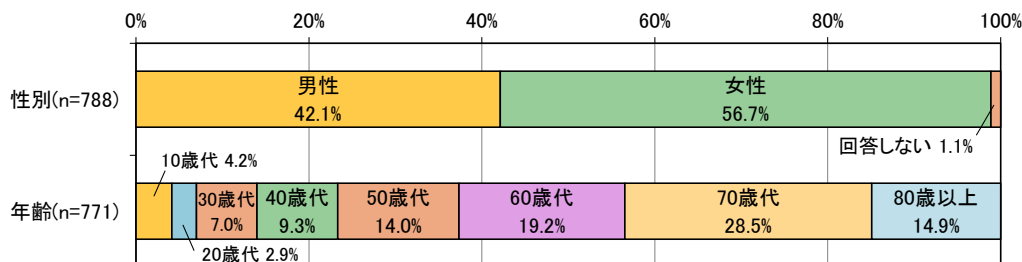
設問		前回（H28）調査	今回（R5）調査	比較結果
	サービスを改善した場合の利用意向：高い項目 3つ	目的地までの新路線ができる、所要時間が短くなる、最終便の時刻が遅くなる	定額制乗り放題を導入する、共通定期券の利用区間を拡大する、乗り換えの待ち時間が短くなる 共通定期券の利用区間を拡大する、定額制乗り放題を導入する、目的地までの新路線ができる	定額制の乗り放題のニーズが高い
	高齢者割引制度を知らない・利用したことがない	40.3%	56.7%/46.8%	認知度・利用経験は低下
	通学助成制度を知らない・利用したことがない	69.8%	62.0%/70.8%	
市民会議の取組	取組を知らなかった	67.0%	58.3%/58.9%	認知度が向上
	取組を支持する	47.5%	46.4%/48.6%	
松江市の公共交通のあり方	10年後の市内路線バスは現状のまま存続していると思う	37.0%	4.6%/7.0%	大幅に低下、「存続しているが、路線や便数は減少していると思う」が大きく上昇
	路線バスへの公費負担を知っていた	一畑バス 31.4%、交通局 38.5%	一畑バス 51.8%/45.2%、交通局 50.1%/48.3%	上昇
	市内路線バスの維持のため公費で補助金を出すことへの支持	65.5%	47.8%/52.5%	低下（「わからない」が大きく上昇）
	市街地で自由に貸出・返却可能なレンタサイクルが導入されたら利用する・多分利用する	19.3%	25.1%、30.7%	上昇
コミュニティバス ※は運行地域のみの回答	認知度：知らない	5.2%/21.5%	6.7%/29.6%	非運行地域で低下
	過去1年間利用しなかった※	85.6%	91.3%	若干上昇
	地域にとってコミュニティバスは必要※	86.7%	86.6%	
	コミュニティバスを維持するための方法	「市が公費（税金）で補助」、「利用者の運賃を上げる」、「運行している地域の住民に負担を求める」のどれも大きな変化無し		

3. 単純集計結果（コミュニティバス運行地域）

(1) あなた自身のことについて

① 性別・年齢

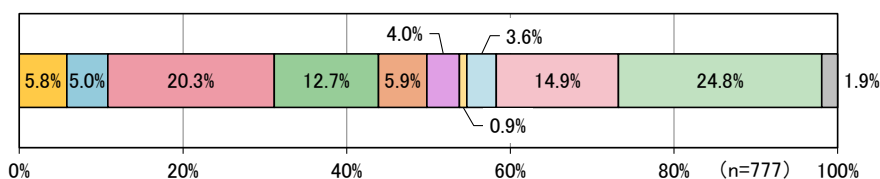
- 性別は「女性」が56.7%と「男性」よりも多く、過半数である。
- 年齢は「70歳代」が28.5%で最も多く、以下、「60歳代」（19.2%）、「80歳以上」（14.9%）となっている。



② 主な職業

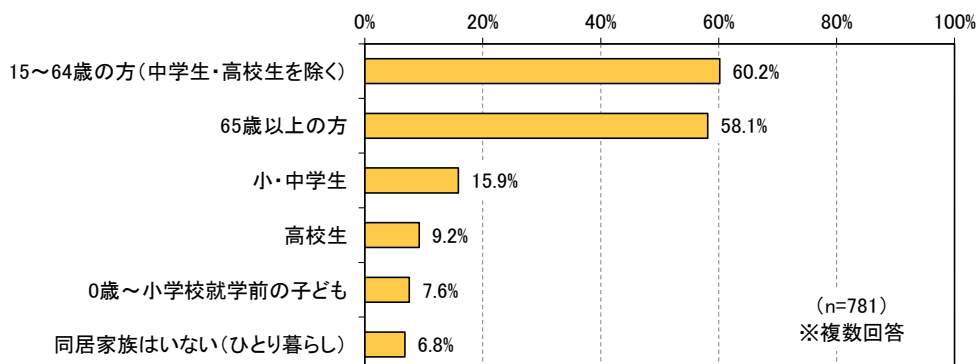
- 「無職」が24.8%で最も多く、以下、「民間企業（常勤）」（20.3%）、「専業主婦（主夫）」（14.9%）、「民間企業（パート・アルバイト）」（12.7%）となっている。

- 自営業（農林漁業）
- 自営業（農林漁業以外）
- 民間企業（常勤）
- 民間企業（パート・アルバイト）
- 公務員及びそれに準ずる団体職員など（常勤）
- 公務員及びそれに準ずる団体職員など（嘱託・臨時・パート）
- 大学生・短大生・高専生・専門学校生
- 高校生
- 専業主婦（主夫）
- 無職
- その他



③ 同居の家族

- 「15～64歳の方（中学生・高校生を除く）」（60.2%）と「65歳以上の方」（58.1%）が、ともに約60%で突出して多くなっている。

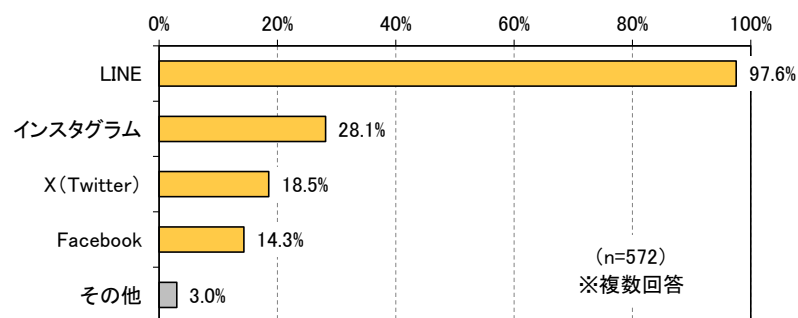


④ お住まい

集計中

⑤ 現在利用している SNS（携帯電話を持っている人）

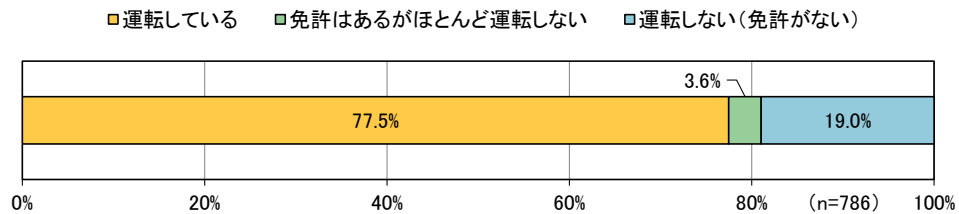
- 「LINE」が97.6%で突出して多く、以下、「Instagram」（28.1%）、「X（Twitter）」（18.5%）、「Facebook」（14.3%）となっている。



※SNSに当てはまらない回答（チャットツール、機種名等）は除外

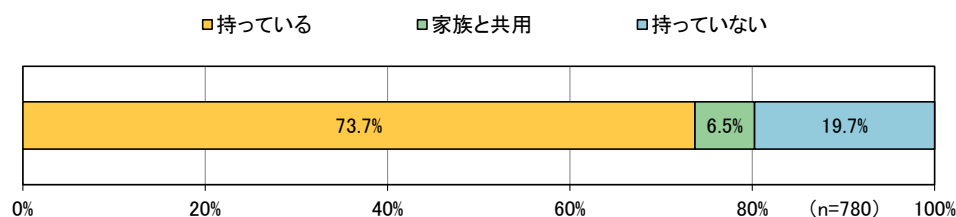
⑥ 日常的に自動車の運転をしているか

- 「運転している」が77.5%で最も多く、以下、「運転しない（免許がない）」（19.0%）、「免許はあるがほとんど運転しない」（3.6%）となっている。



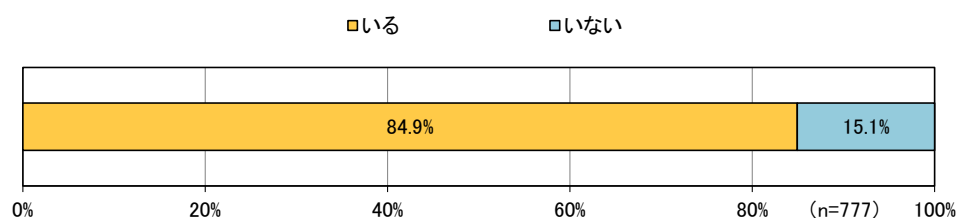
⑦ 自分が自由に使用できる車を持っているか

- 「持っている」が73.7%で最も多く、以下、「持っていない」(19.7%)、「家族と共用」(6.5%)となっている。



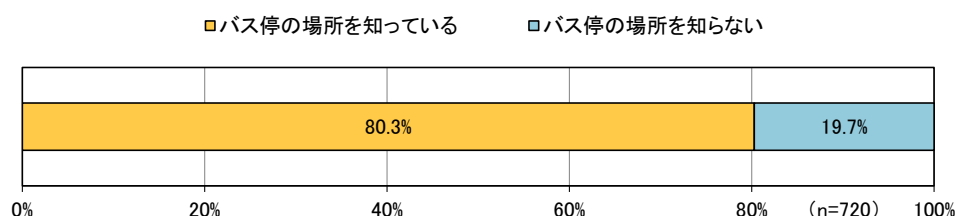
⑧ 普段、家族や身近な人など送迎を頼める人がいるか

- 家族や身近な人など送迎を頼める人がいる人は、8割を超えている。



⑨ 自宅の最寄りのバス停の場所を知っているか

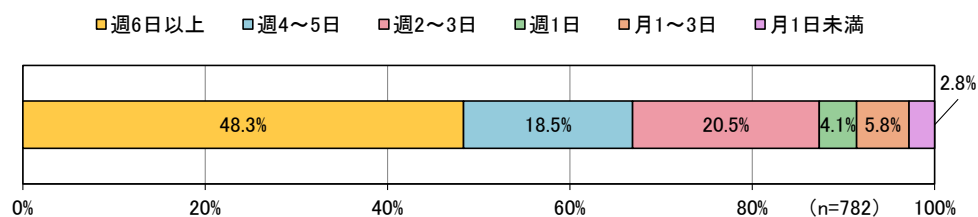
- 自宅の最寄りのバス停の場所を知っている人は、8割である。



(2) 普段の交通行動などについて

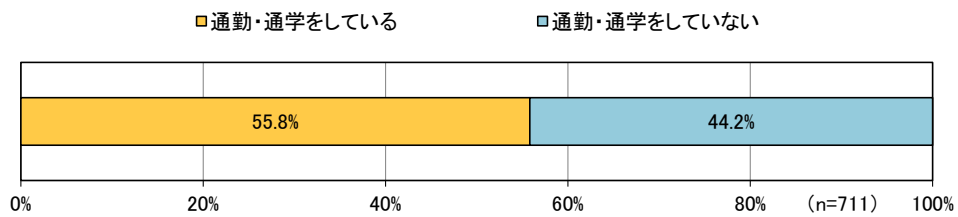
① 通勤・通学や買い物、通院など、普段の生活でどの程度外出しているか

- 「週6日以上」が48.3%で最も多く、以下、「週2〜3日」(20.5%)、「週4〜5日」(18.5%)となっている。



② 通勤・通学をしているか

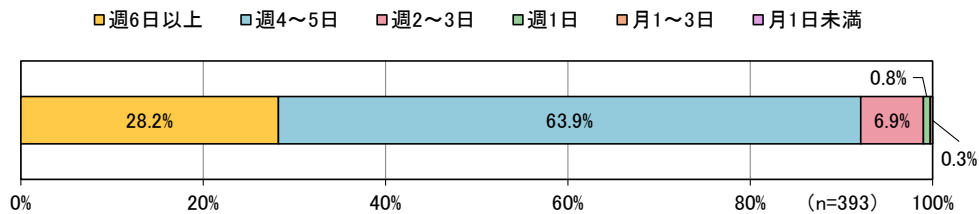
- 通勤・通学をしている人は、半数を超えている。



③ 普段の通勤・通学について（通勤・通学をしている人）

i) 通勤・通学の頻度

- 「週 4～5 日」が 63.9%で最も多く、以下、「週 6 日以上」（28.2%）、「週 2～3 日」（6.9%）となっている。



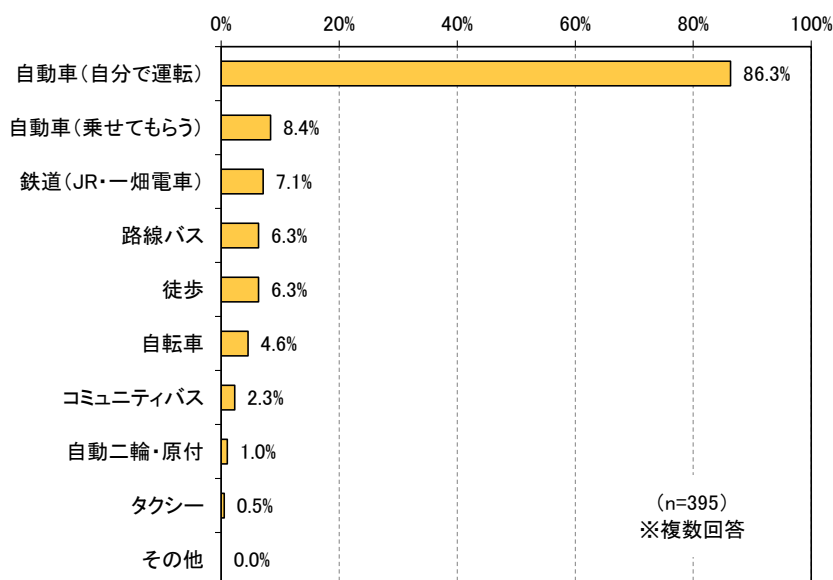
※「月 1 日未満」は回答数が 0 であった。

ii) 通勤・通学先の所在地

集計中

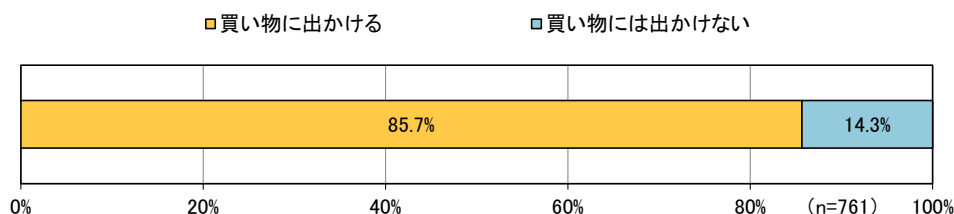
iii) 通勤・通学時の利用交通手段

- 「自動車（自分で運転）」が 86.3%で突出して多く、以下、「自動車（乗せてもらう）」（8.4%）と、自動車で移動する人が多くなっている。
- 自動車以外の交通手段では、「鉄道（JR・一畑電車）」が 7.1%で最も多く、以下、「路線バス」と「徒歩」が 6.3%となっている。



④ 日常的に食料品や日用品の買い物に出かけるか

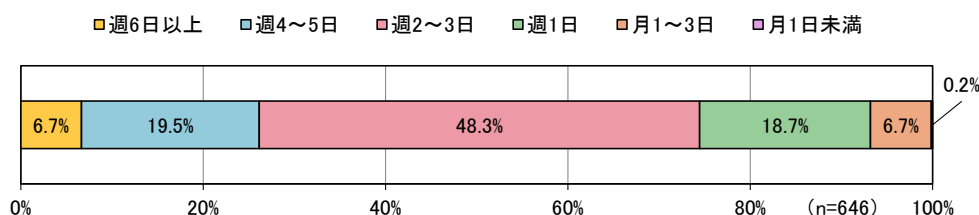
- 日常的に食料品や日用品の買い物に出かける人は、8割を超えている。



⑤ 普段の買い物について（日常的に食料品や日用品の買い物に出かける人）

i) 買い物に行く頻度

- 「週 2～3 日」が 48.3%で最も多く、以下、「週 4～5 日」（19.5%）、「週 1 日」（18.7%）となっている。

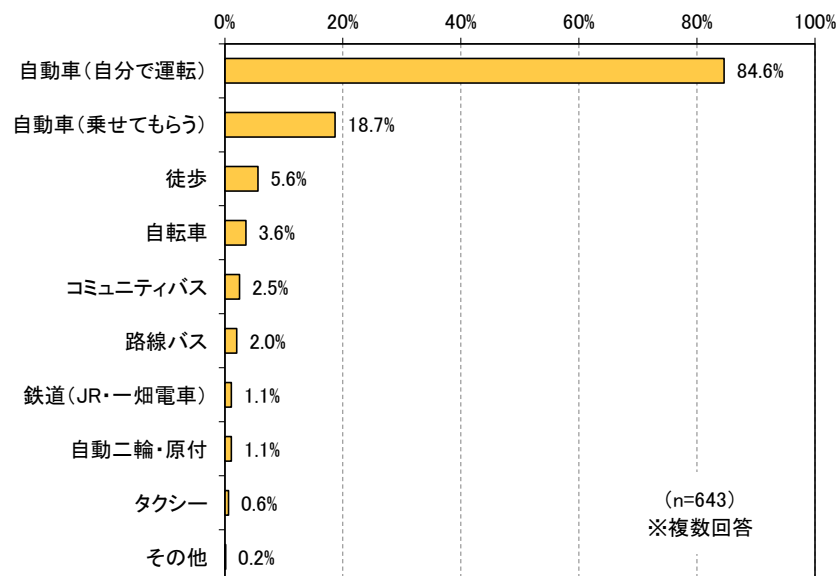


ii) 最もよく行く買い物先

集計中

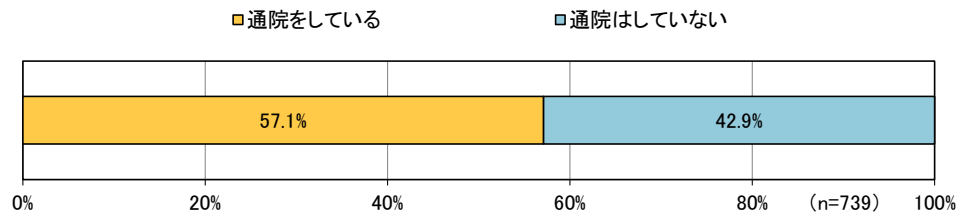
iii) 買い物の際の利用交通手段

- 「自動車（自分で運転）」が 84.6%で最も多く、以下、「自動車（乗せてもらう）」（18.7%）と、自動車で移動する人が多くなっている。
- 自動車以外の交通手段では、「徒歩」が 5.6%で最も多く、以下、「自転車」が 3.6%となっている。



⑥ 日常的に通院をするか

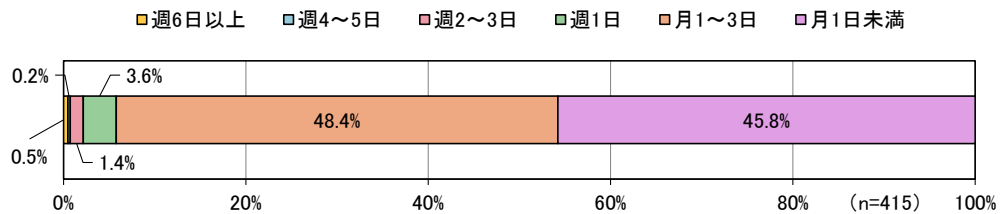
- 日常的に通院をしている人は、半数を超えている。



⑦ 普段の通院について（日常的に通院をしている人）

i) 通院の頻度

- 「月 1～3 日」が 48.4%で最も多く、以下、「月 1 日未満」（45.8%）、「週 1 日」（3.6%）となっている。

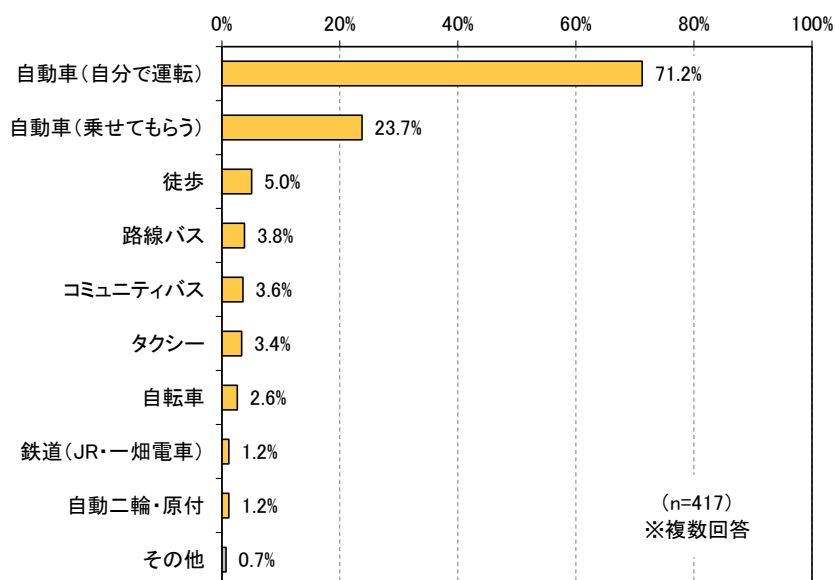


ii) 最もよく行く医療機関

集計中

iii) 通院の際の利用交通手段

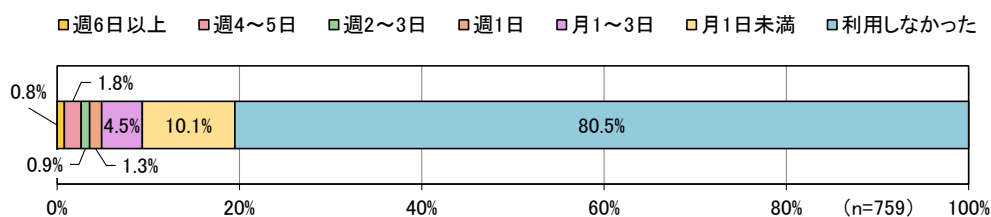
- 「自動車（自分で運転）」が 71.2%で最も多く、以下、「自動車（乗せてもらう）」（23.7%）と、自動車で移動する人が多くなっている。
- 自動車以外の交通手段では、「徒歩」が 5.0%で最も多く、以下、「路線バス」が 3.8%となっている。



(3) 市内路線バス（一畑バス・松江市交通局）の利用状況と満足度について

① 過去 1 年の間に、市内路線バスをどの程度利用したか

- 「利用しなかった」が 80.5%で最も多く、以下、「月 1 日未満」（10.1%）、「月 1～3 日」（4.5%）となっている。



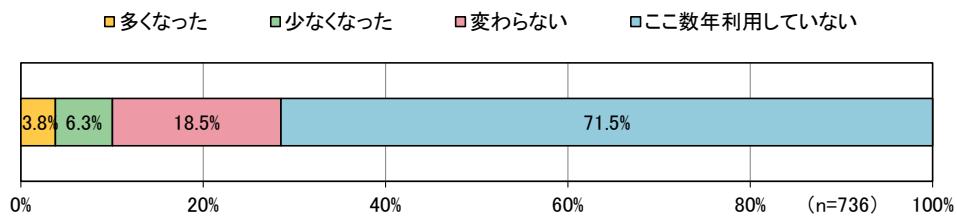
② 主に利用する市内路線バスの区間（過去 1 年の間に利用したことがある人）

集計中

③ ここ数年間の市内路線バスの利用の変化

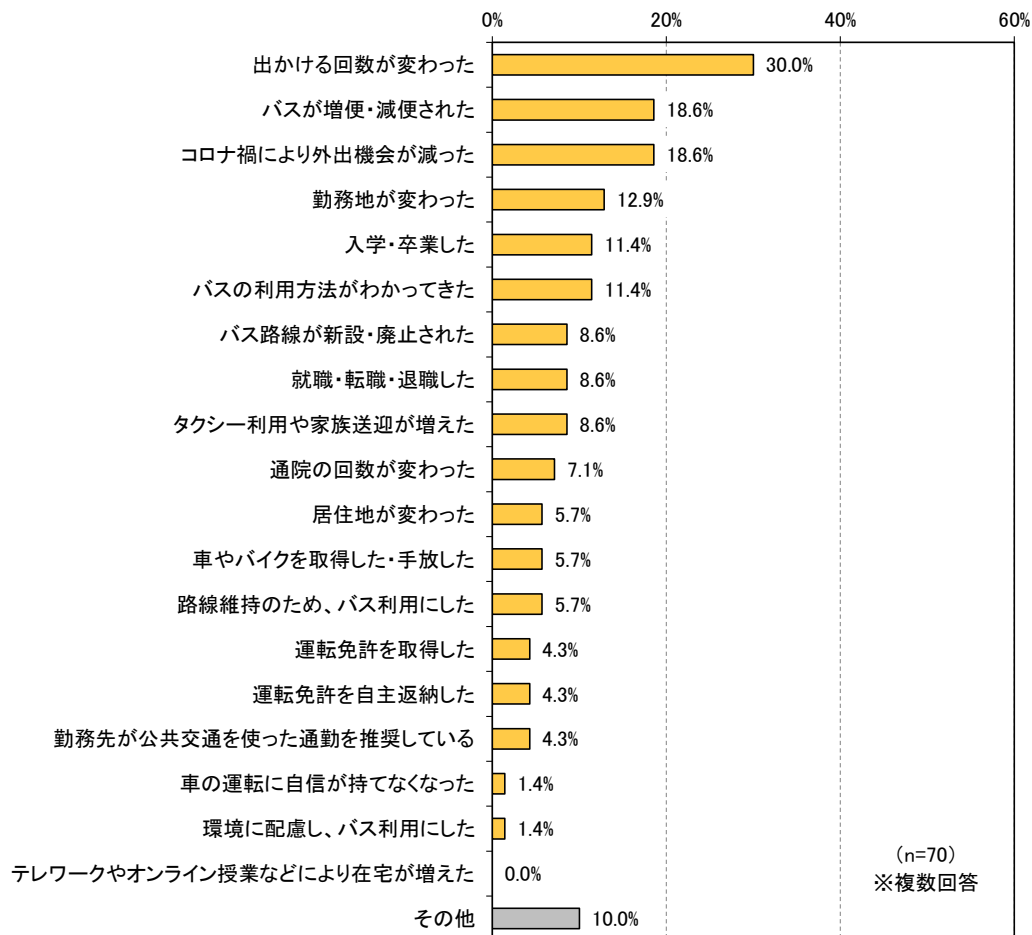
i) ここ数年の間に、市内路線バスの利用頻度が変化したか

- 「ここ数年利用していない」が 71.5%で最も多く、以下、「変わらない」(18.5%)、「少なくなった」(6.3%)、「多くなった」(3.8%)となっている。



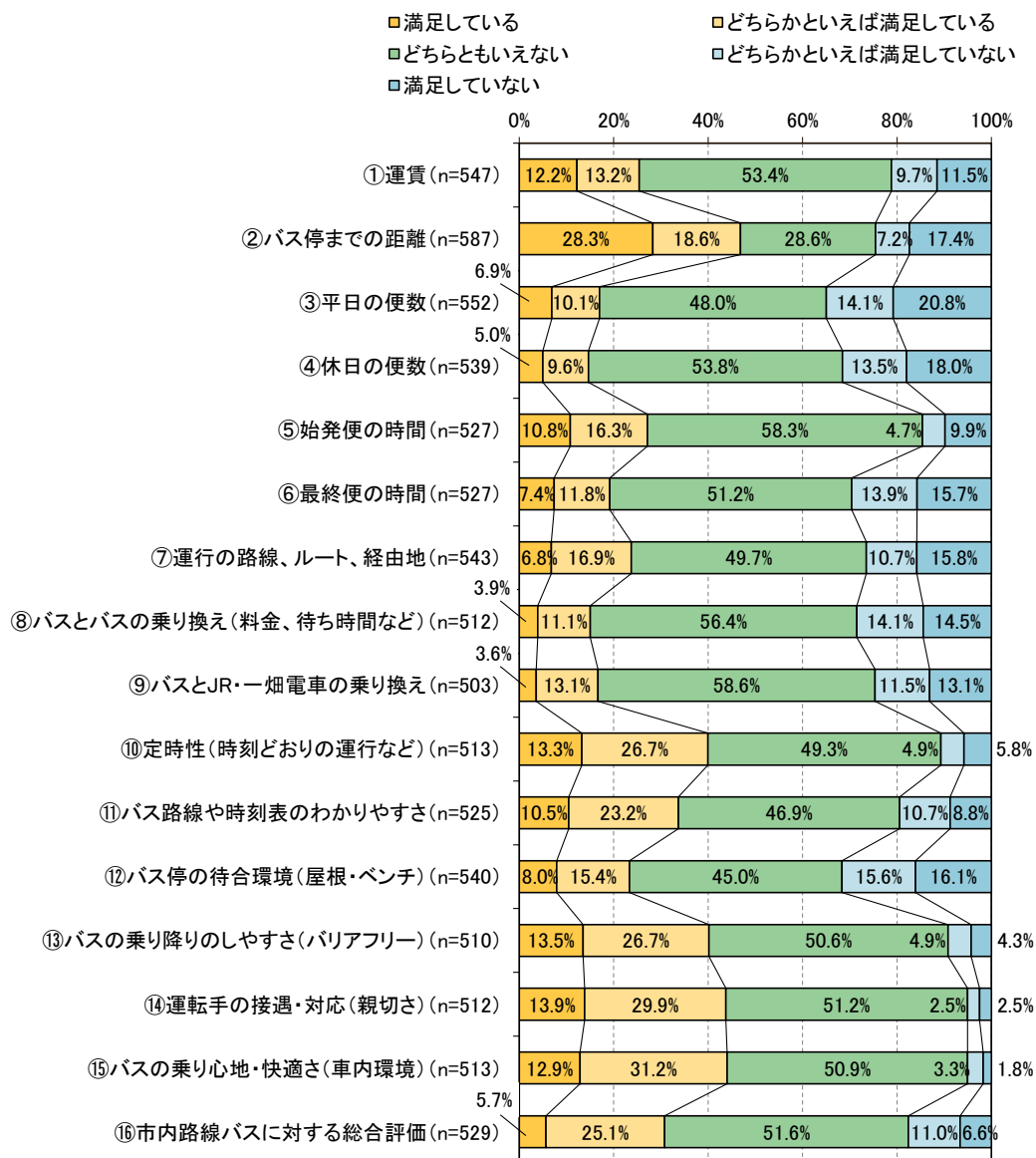
ii) 市内路線バスの利用頻度が変化した理由（利用頻度が多くなった人・少なくなった人）

- 「出かける回数が変わった」が 30.0%で最も多く、以下、「バスが増便・減便された」と「コロナ禍により外出機会が減った」(18.6%)、「勤務地が変わった」(12.9%)となっている。



④ 市内路線バスの満足度

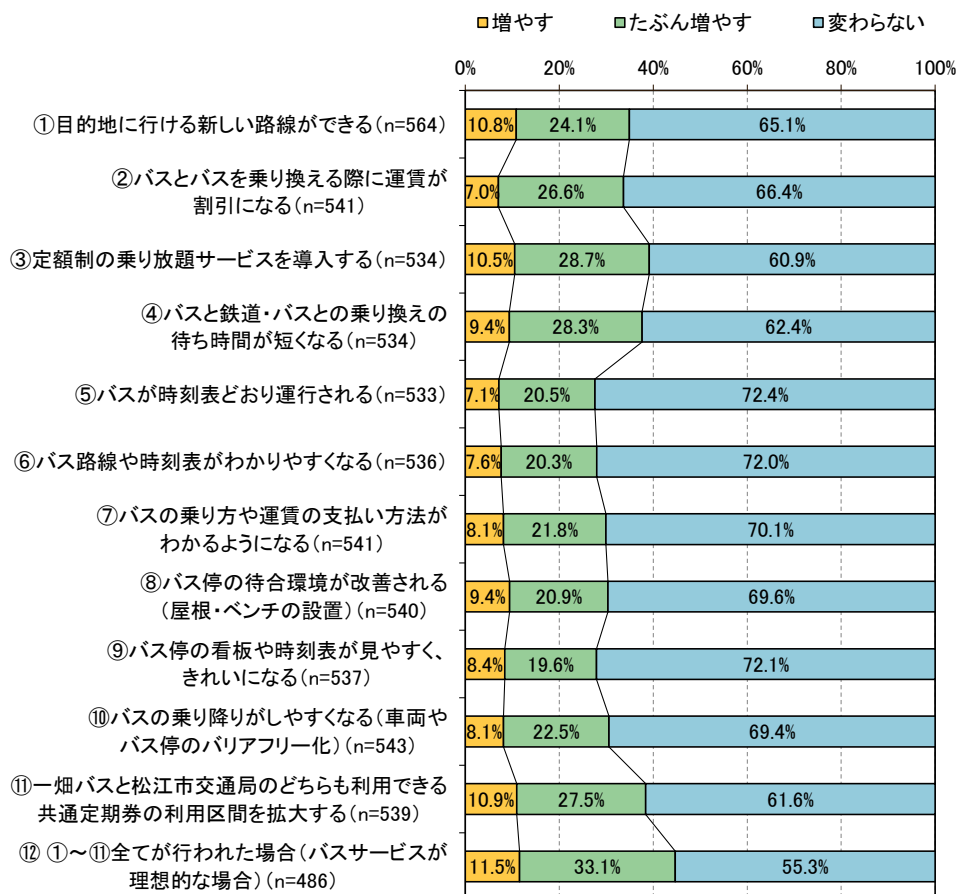
- 満足度が高い（「満足」と「どちらかといえば満足している」を足した値が高い）項目は、「②バス停までの距離」が46.9%で最も高く、以下、「⑮バスの乗り心地・快適さ（車内環境）」（44.1%）、「⑭運転手の接遇・対応（親切さ）」（43.8%）となっている。
- 満足度が低い（「満足していない」と「どちらかといえば満足していない」を足した値が高い）項目は、「③平日の便数」が34.9%で最も高く、以下、「⑫バス停の待合環境（屋根・ベンチ）」（31.7%）、「④休日の便数」（31.5%）となっている。



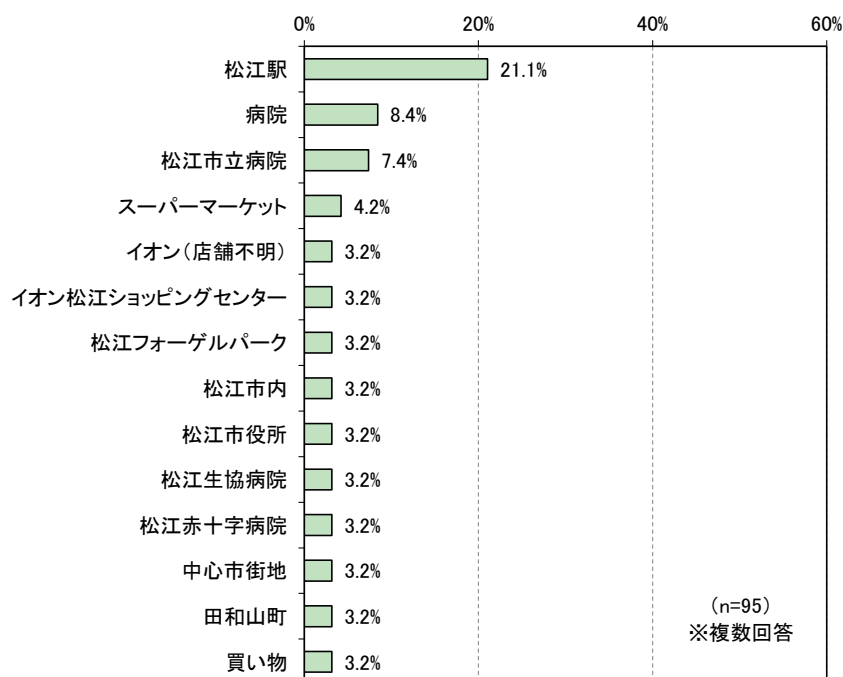
(4) 市内路線バス（一畑バス・松江市交通局）の施策やサービスについて

① 市内路線バスのサービスが改善された場合、バスの利用を増やすと思うか

- 「増やす」と「たぶん増やす」を足した値が高い項目は、「③定額制の乗り放題サービスを導入する」が39.2%で最も高く、以下、「⑪一畑バスと松江市交通局のどちらも利用できる共通定期券の利用区間を拡大する」（38.4%）、「④バスと鉄道・バスとの乗り換えの待ち時間が短くなる」（37.7%）となっている。

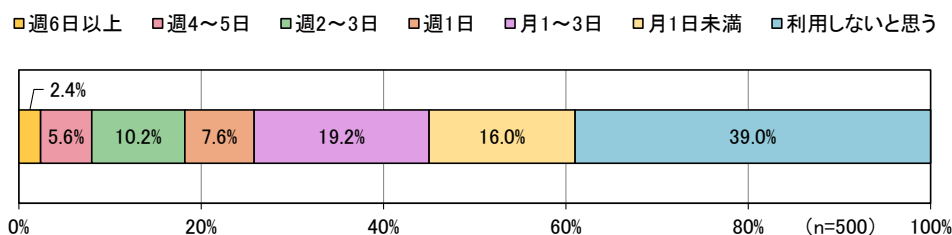


- 「①目的地に行ける新しい路線ができる」の、バスで行きたい目的地の名称
 - 「松江駅」が21.1%で最も多く、以下、病院や買い物に関する回答が多く見られる。



※上位 14 件までを記載

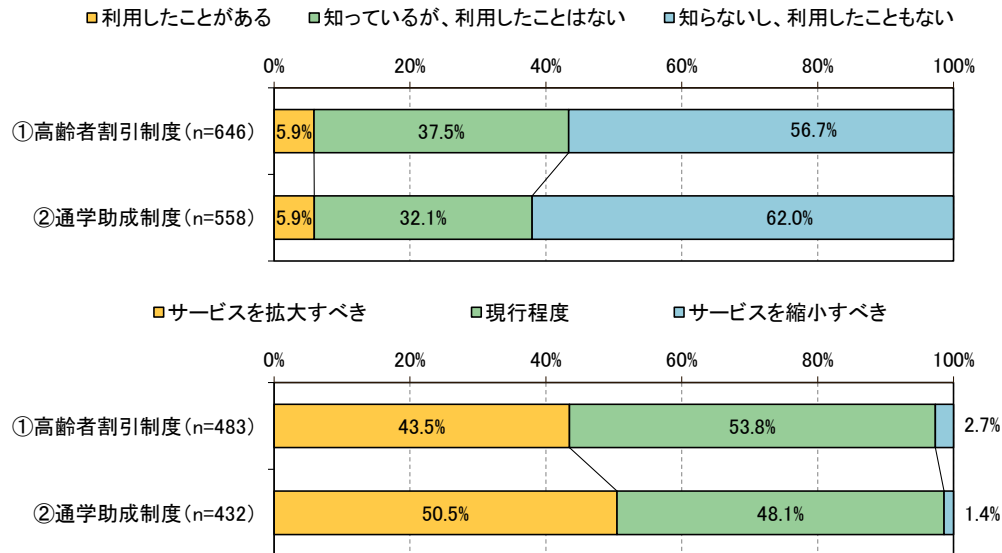
- 「②バスとバスを乗り換える際に運賃が割引になる」の、一乗車につき割引される希望金額（平均）は113.9円（n=68）で、他に「半額」（n=4）、「10%」「20%」「一定割合」（各 n=1）の回答があった。
 - 「③定額制の乗り放題サービスを導入する」の、一か月あたり希望金額（平均）は、3,404.3円（n=82）であった。
 - 「④バスと鉄道・バスとの乗り換えの待ち時間が短くなる」の、待ち時間の許容範囲（平均）は、14.1分（n=144）であった。
 - 「⑤バスが時刻表どおり運行される」の、遅れ時間の許容範囲（平均）は、8.5分（n=139）であった。
- ⑫ 「①～⑪全てが行われた場合（バスサービスが理想的な場合）」で、バスサービスが理想的な場合、どのくらいバスを利用すると思うか
- 「利用しないと思う」が39.0%で最も多く、以下、「月1～3日」（19.2%）、「月1日未満」（16.0%）となっている。



② 市内路線バスで実施している施策・サービスを利用（参加）したことがあるか

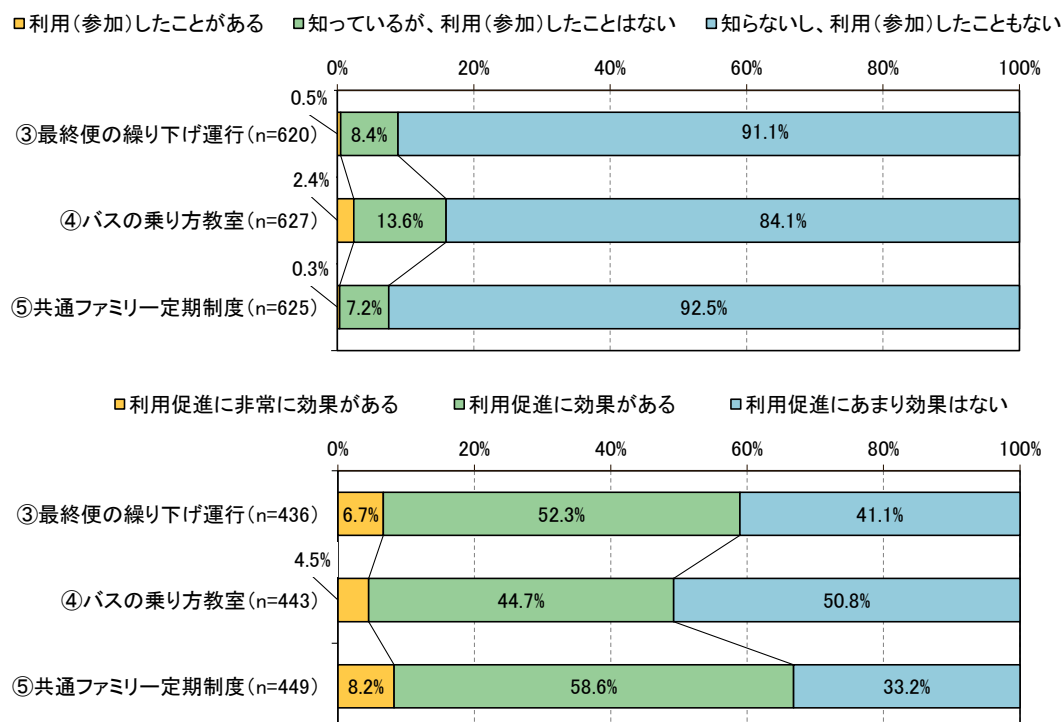
i) 高齢者割引制度、通学助成制度

- 「①高齢者割引制度」と「②通学助成制度」のどちらも、「利用したことがある」と回答した人は5.9%であった。
- 「サービスを拡大すべき」と回答した人は、「①高齢者割引制度」で43.5%、「②通学助成制度」で50.5%であった。



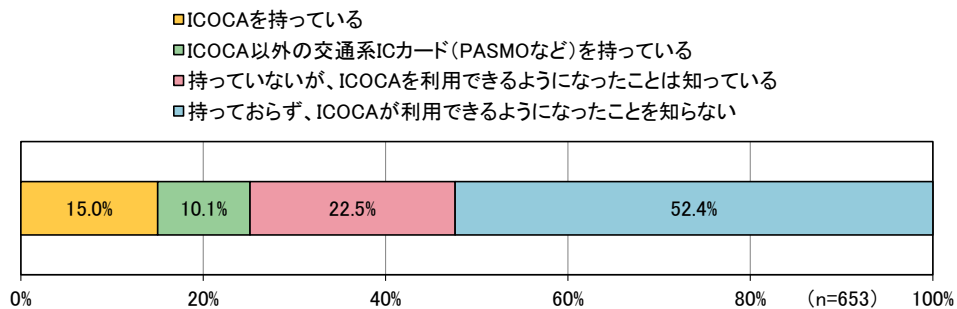
ii) 最終便の繰り下げ運行、バスの乗り方教室、共通ファミリー定期制度

- 「③最終便の繰り下げ運行」、「④バスの乗り方教室」、「⑤共通ファミリー定期制度」のいずれも、「知らないし、利用（参加）したこともない」と回答した人は、8割を超えている。
- 「利用促進に非常に効果がある」「利用促進に効果がある」と回答した人は、「③最終便の繰り下げ運行」で59.0%、「④バスの乗り方教室」で49.2%、「⑤共通ファミリー定期制度」で66.8%であった。



③ 交通系 IC カードを持っているか

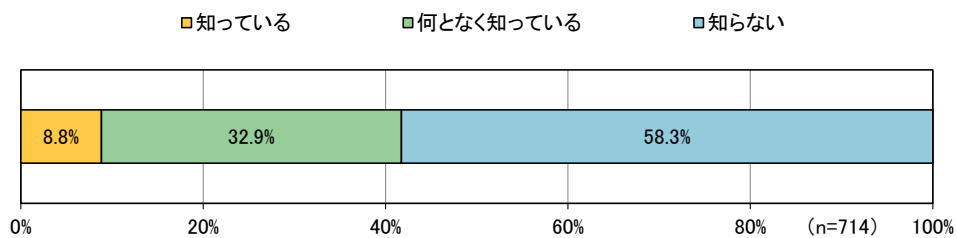
- 交通系 IC カードを持っている人（「ICOCA を持っている」「ICOCA 以外の交通系 IC カード（PASMO など）を持っている」）は、25.1%であった。



④ 「松江市公共交通利用促進市民会議」の取り組みについて

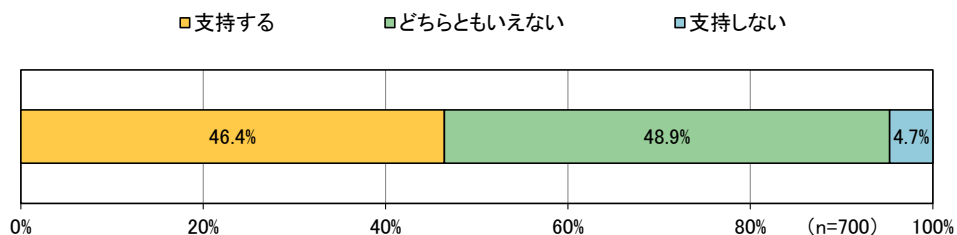
- 「松江市公共交通利用促進市民会議」による、バス路線の維持や利用促進の取り組みが行われていることを知っているか

- 「知らない」が58.3%で、約6割となっている。



- 「松江市公共交通利用促進市民会議」の取り組みについて、どう思うか

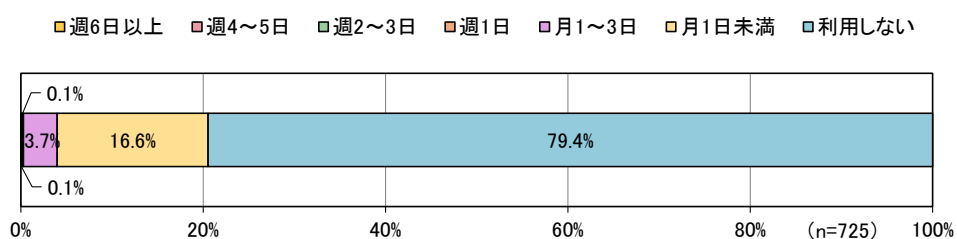
- 「支持する」が46.4%、「どちらともいえない」が48.9%で、同じくらいとなっている。



(5) 市内を運行するタクシーの利用について

① 市内でタクシーを普段どのくらい利用するか

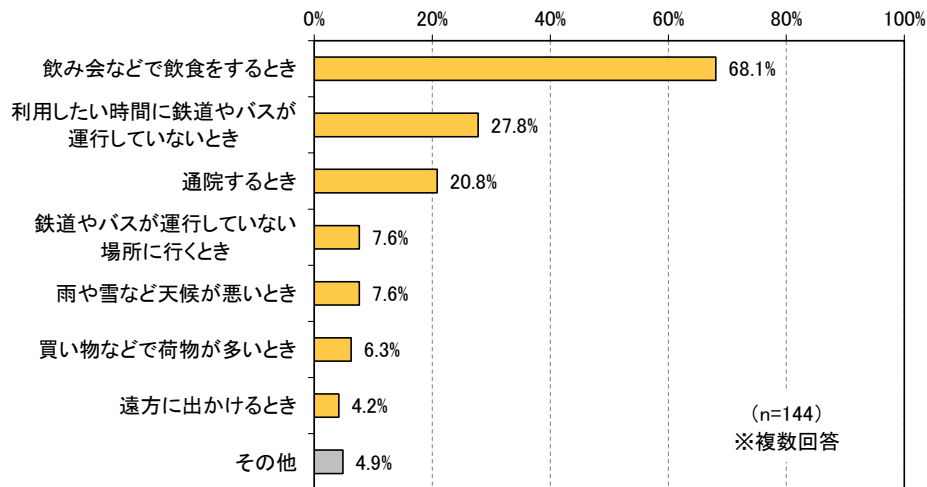
- 「利用しない」が79.4%で最も多く、以下、「月1日未満」(16.6%)、「月1～3日」(3.7%)となっている。



※「週6日以上」と「週4～5日」は回答数が0であった。

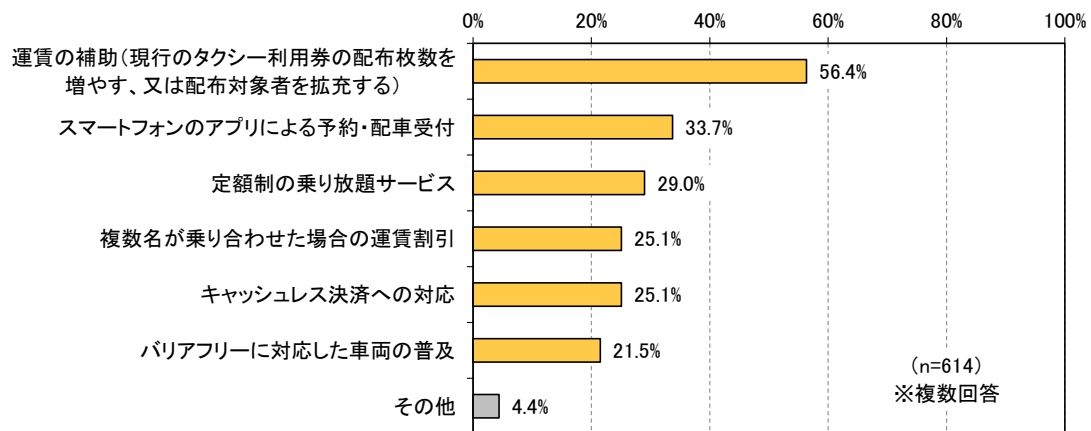
② タクシーを利用する場面（普段タクシーを利用する人）

- 「飲み会などで飲食をするとき」が68.1%で最も多く、以下、「利用したい時間に鉄道やバスが運行していないとき」（27.8%）、「通院するとき」（20.8%）となっている。



③ タクシーを今より便利にするために、必要だと思うこと

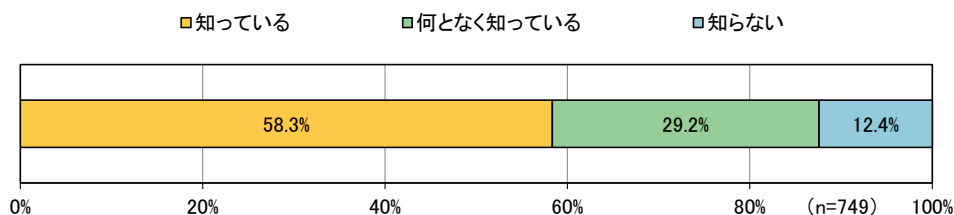
- 「運賃の補助（現行のタクシー利用券の配布枚数を増やす、又は配布対象者を拡充する）」が56.4%で最も多く、以下、「スマートフォンのアプリによる予約・配車受付」（33.7%）、「定額制の乗り放題サービス」（29.0%）となっている。



(6) 松江市の公共交通のあり方について

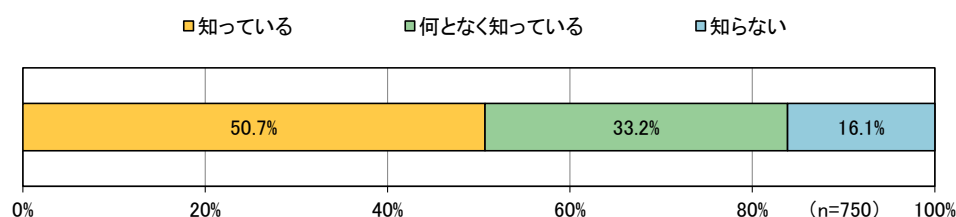
① 全国的に路線バス運転士が不足していることを知っているか

- 「知っている」と回答した人は、半数を超えている。



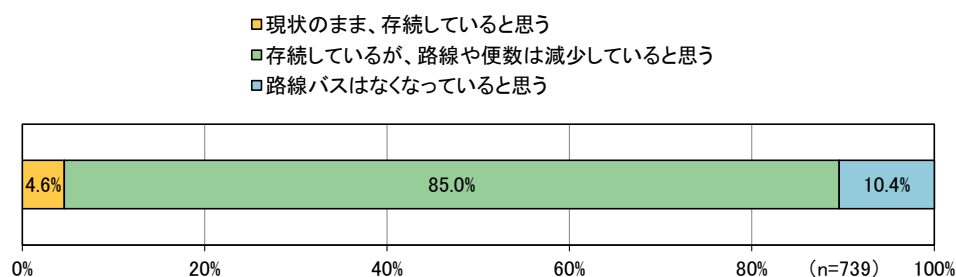
② 路線バス運転士の慢性的な不足は、バス路線の廃止や減便の大きな要因となっていることを知っているか

- 「知っている」と回答した人は、約半数である。



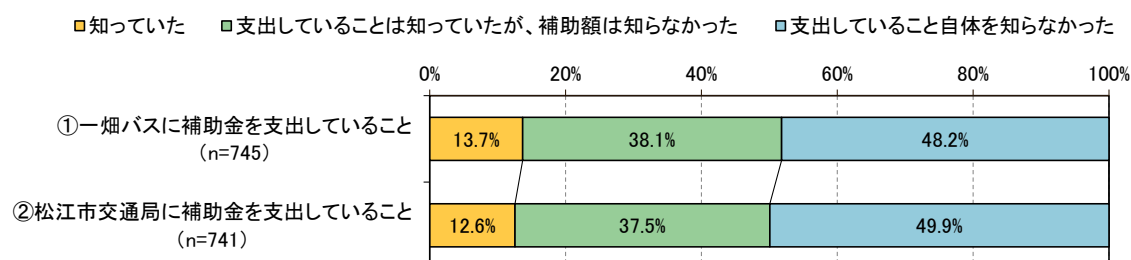
③ 10年後の市内路線バスはどうなっていると思うか

- 「存続しているが、路線や便数は減少していると思う」が85.0%で突出して多く、「現状のまま、存続していると思う」は4.6%にとどまっている。



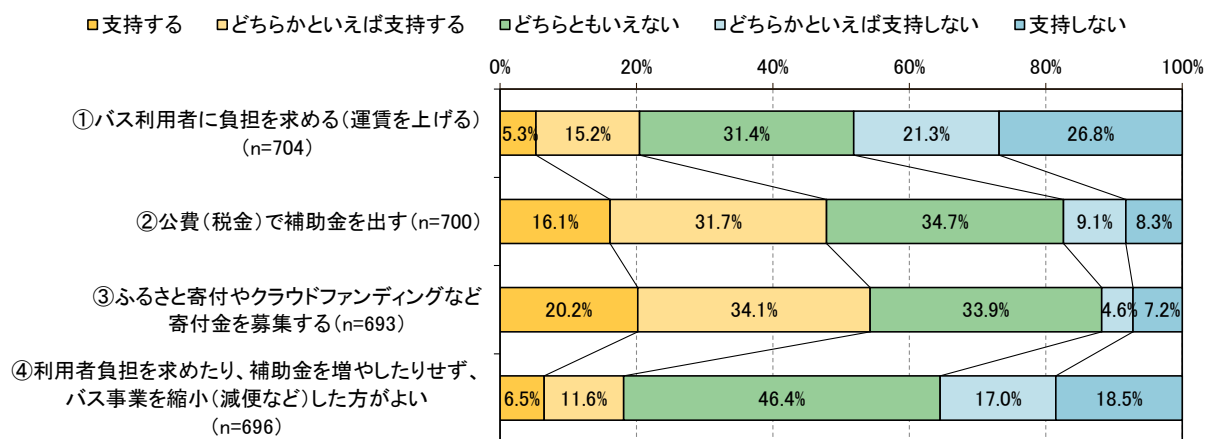
④ 補助金を支出していることを知っているか

- 一畑バス、松江市交通局ともに、補助金を支出していること自体を知らなかった人が、約半数となっている。



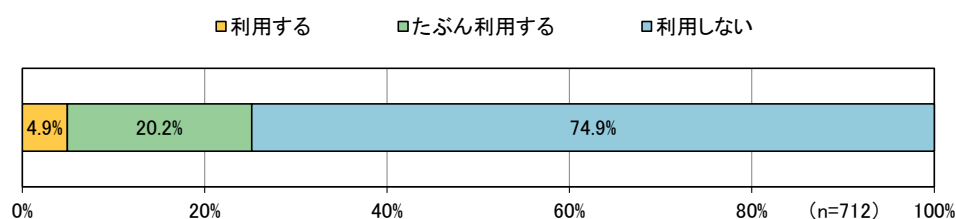
⑤ 赤字の市内路線バスを維持するための方法について、支持をするか

- 「①バス利用者に負担を求める（運賃を上げる）」は、「支持しない」（26.8%）と「どちらかといえば支持しない」（21.3%）と回答した人が 48.1%と、半数近くとなっている。
- 「②公金（税金）で補助金を出す」は、「支持する」（16.1%）と「どちらかといえば支持する」（31.7%）と回答した人が 47.8%と、半数近くとなっている。
- 「③ふるさと寄付やクラウドファンディングなど寄付金を募集する」は、「支持する」（20.2%）と「どちらかといえば支持する」（34.1%）と回答した人が 54.3%と、過半数となっている。
- 「④バス事業を縮小（減便など）した方がよい」は、「どちらともいえない」が 46.4%で最も多くなっている。

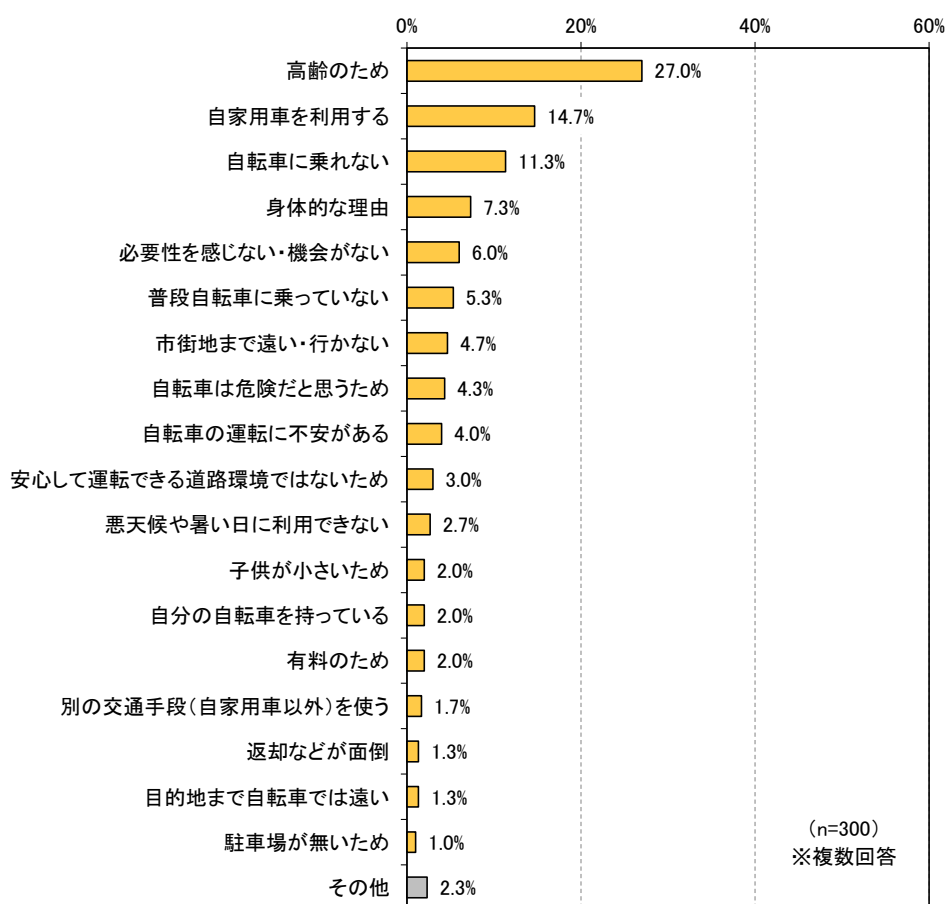


⑥ レンタサイクル（貸し自転車）について

- 「利用しない」と回答した人が、74.9%で最も多くなっている。
- 「利用する」と回答した人の、1回当たりの希望金額（平均）は、358.3 円（n=24）で、他に「時間従量制」と回答した人が 1 名いた。

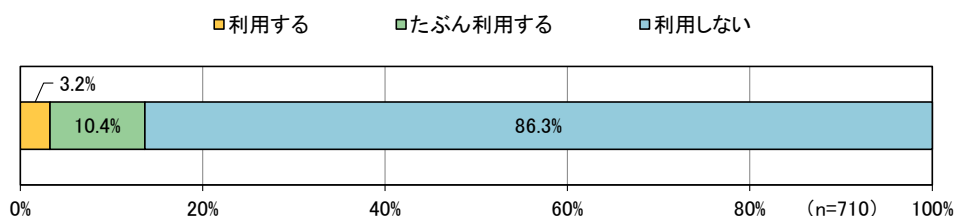


- 「利用しない」と回答した人の、利用しない理由
 - 「高齢のため」が 27.0%で最も多く、以下、「自家用車を利用する」（14.7%）、「自転車に乗れない」（11.3%）となっている。

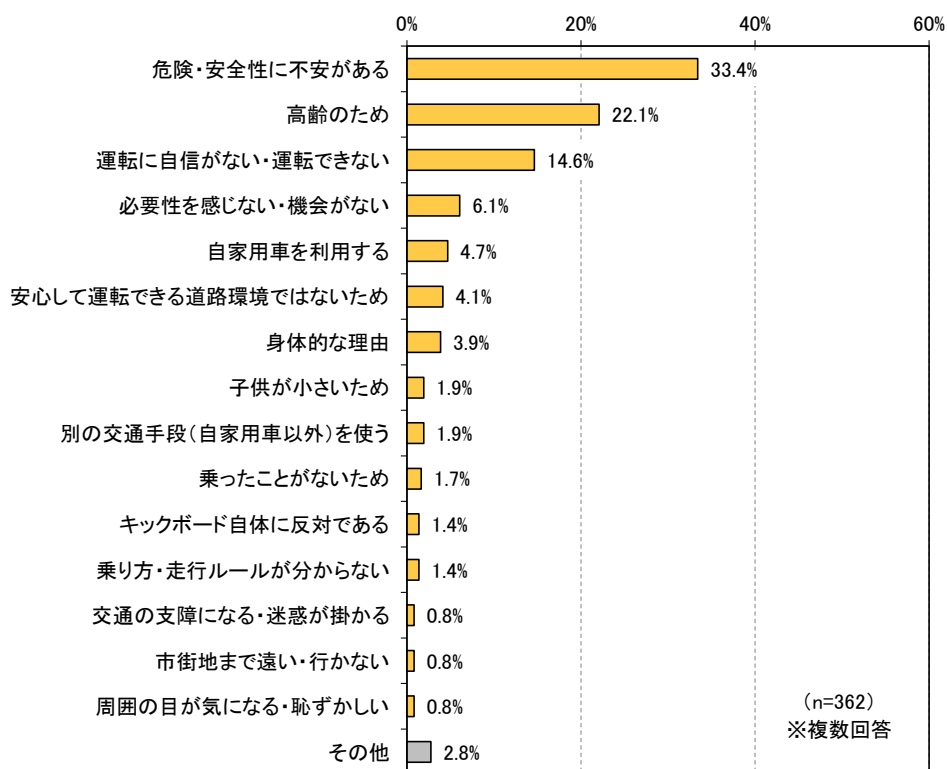


⑦ 電動キックボードについて

- 「利用しない」と回答した人が、8割以上となっている。
- 「利用する」と回答した人の、1回当たりの希望金額（平均）は、413.7 円（n=19）であった。

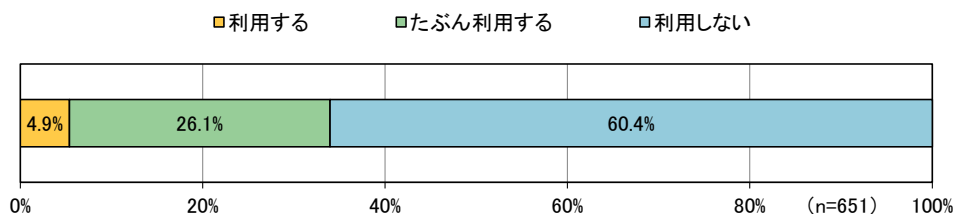


- 「利用しない」と回答した人の、利用しない理由
 - 「危険・安全性に不安がある」が 33.4%で最も多く、以下、「高齢のため」(22.1%)、「運転に自信がない・運転できない」(14.6%)となっている。

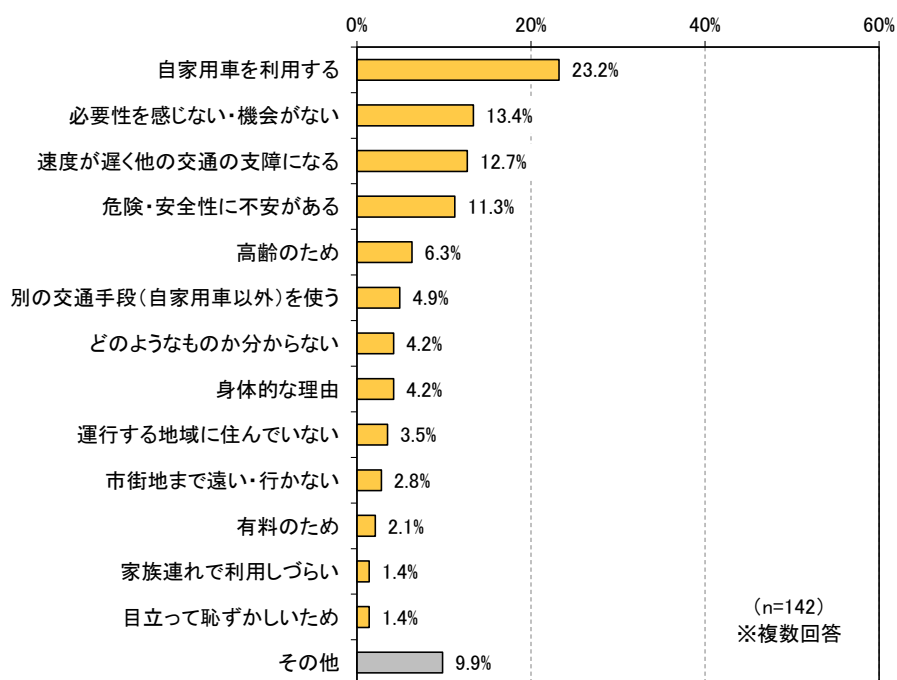


⑧ グリーンスローモビリティについて

- 「利用しない」と回答した人が、約6割となっている。
- 「利用する」と回答した人の、1回当たりの希望金額(平均)は、378.0円(n=25)であった。



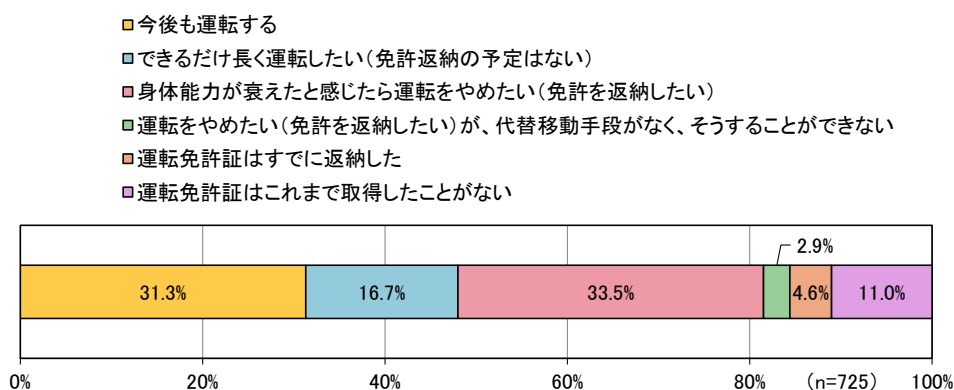
- 「利用しない」と回答した人の、利用しない理由
 - 「自家用車を利用する」が 23.2%で最も多く、以下、「必要性を感じない・機会がない」(13.4%)、「速度が遅く他の交通の支障になる」(12.7%)となっている。



※「運転に自信がない」等、自分が運転する前提の回答は「その他」に含めている。

⑨ 自身の今後の自動車の運転（運転免許証の返納）について

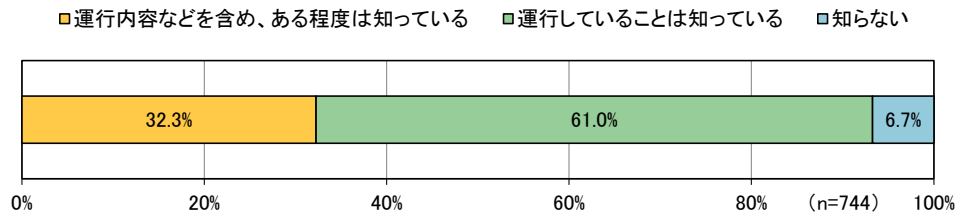
- 「身体能力が衰えたと感じたら運転をやめたい（免許を返納したい）」が 33.5%で最も多く、以下、「今後も運転する」(31.3%)、「できるだけ長く運転したい（免許返納の予定はない）」(16.7%)となっている。



(7) コミュニティバスについて

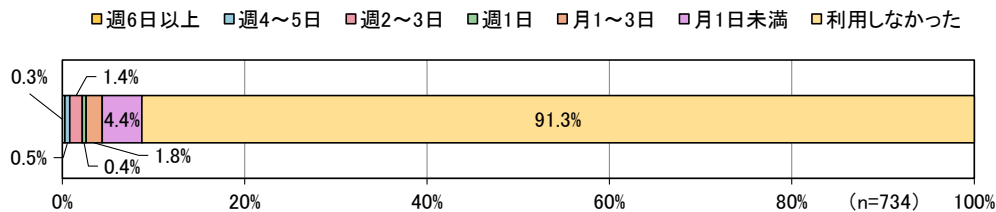
① 市内で運行しているコミュニティバスを知っているか

- 「運行内容などを含め、ある程度は知っている」（32.3%）と「運行していることは知っている」（61.0%）を合わせると、コミュニティバスを知っている人は約9割となっている。



② 過去1年の間に、コミュニティバスをどの程度利用したか

- 「利用しなかった」が91.3%で最も多く、約9割となっている。

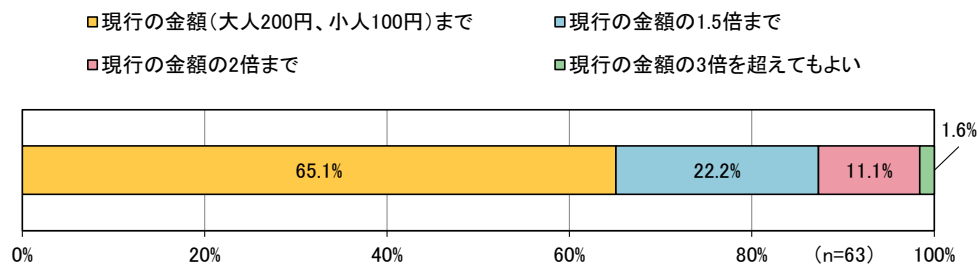


③ 主に利用するコミュニティバスの区間（過去1年の間に利用したことがある人）

集計中

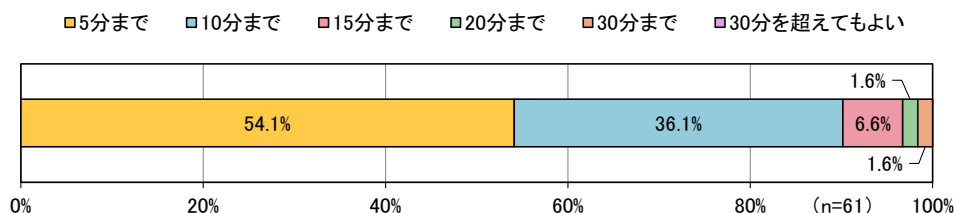
④ 主に利用するコミュニティバスの運賃を値上げする場合、どのくらいまでの増額であれば利用を続けることができるか（過去1年の間に利用したことがある人）

- 「現行の金額（大人200円、小人100円）まで」が65.1%で最も多く、6割以上となっている。



- ⑤ 自宅や目的地の近くのコミュニティバスのバス停が廃止され、最寄りのバス停までの移動時間が長くなった場合、最大で徒歩何分までなら受け入れることができるか（過去1年の間に利用したことがある人）

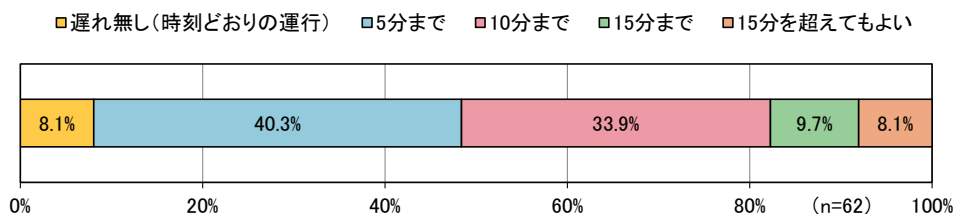
- 「5分まで」が54.1%で最も多く、以下、「10分まで」（36.1%）、「15分まで」（6.6%）となっている。



※「30分を超えてもよい」は回答数が0であった。

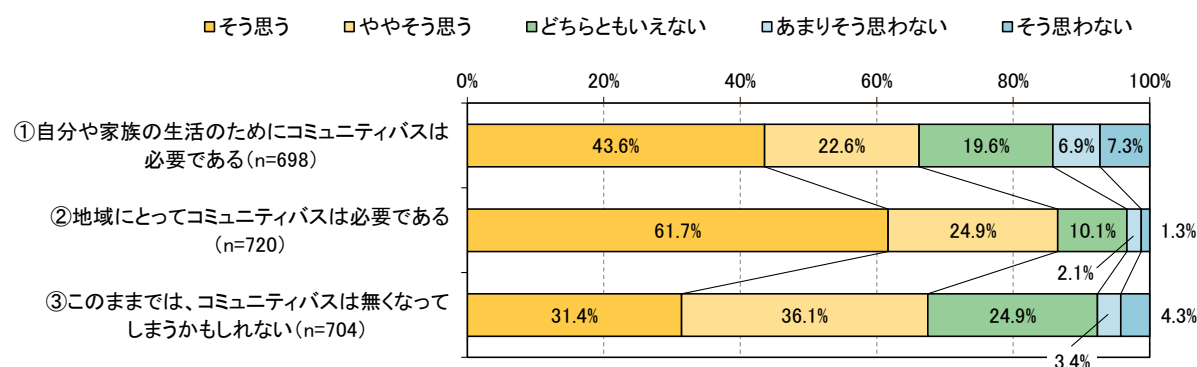
- ⑥ 時刻表や予定配車時刻に対して遅延が発生する場合、遅れ時分がどれくらいまでなら受け入れることができるか（過去1年の間に利用したことがある人）

- 「5分まで」が40.3%で最も多く、以下、「10分まで」（33.9%）、「15分まで」（9.7%）となっている。



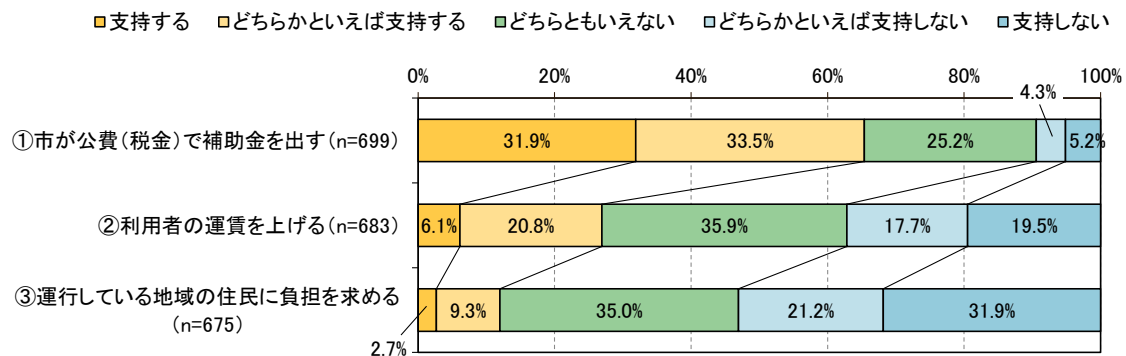
⑦ コミュニティバスに関する項目について

- 「①バス利用者に負担を求める（運賃を上げる）」と「③このままでは、コミュニティバスは無くなってしまうかもしれない」は、「そう思う」（43.6%）と「ややそう思う」（22.6%）と回答した人が6割を超えている。
- 「②地域にとってコミュニティバスは必要である」は、「そう思う」（61.7%）と「ややそう思う」（24.9%）と回答した人が8割を超えている。



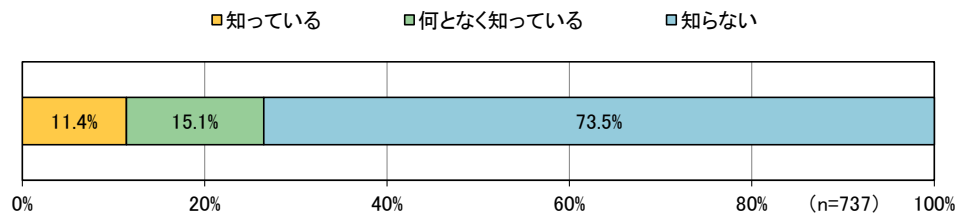
⑧ コミュニティバスを維持するための方法について、支持をするか

- 「①市が公費(税金)で補助金を出す」は、「支持する」(31.9%)と「どちらかといえば支持する」(33.5%)と回答した人が6割を超えている。
- 「②利用者の運賃を上げる」は、「支持する」(6.1%)と「どちらかといえば支持する」(20.8%)と回答した人が26.9%となっている。
- 「③運行している地域の住民に負担を求める」は、「支持する」(2.7%)と「どちらかといえば支持する」(9.3%)と回答した人が12.0%となっている。



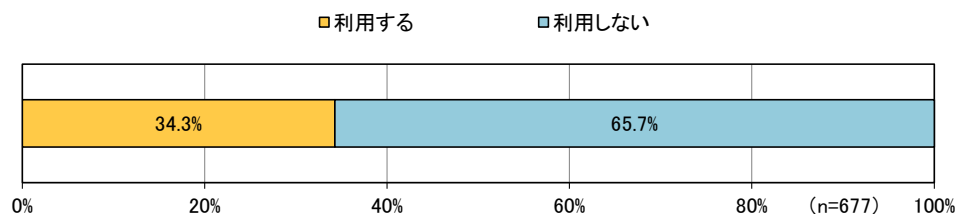
⑨ 本年4月に松江市八束地区に導入されたAI(人工知能)を用いたバスとタクシーの中間的な乗り物(デマンドバス)を知っているか

- 「知らない」と回答した人が、7割を超えている。



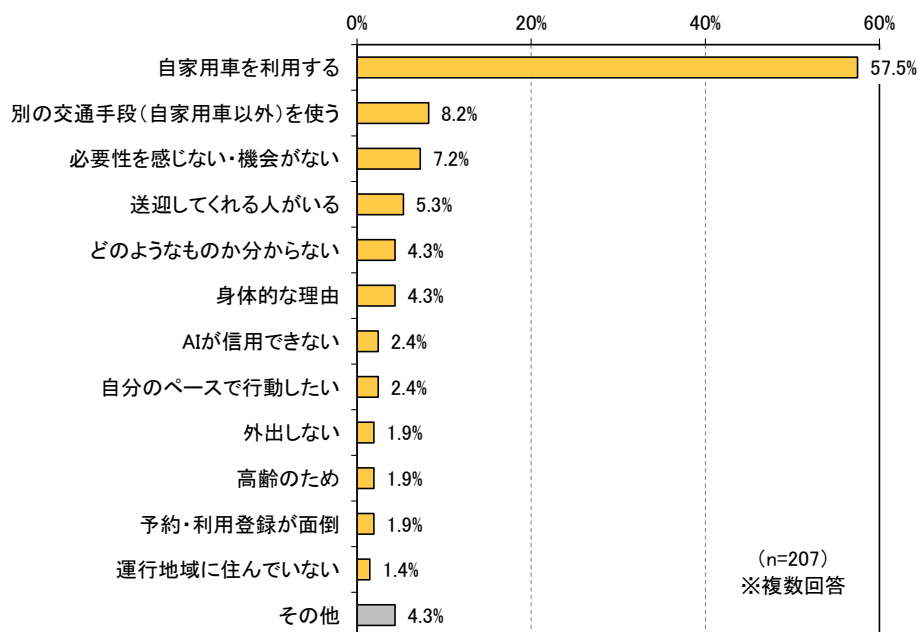
⑩ 自宅近くと最寄りの駅・バス停や通院・買い物先との間を運行するAIデマンドバスがあれば利用するか

- 「利用しない」と回答した人が、6割を超えている。
- 「利用する」と回答した人の、1回当たりの希望金額(平均)は、281.0円(n=152)であった。



● 「利用しない」と回答した人の、利用しない理由

- 「自家用車を利用する」が 57.5%で突出して多く、以下、「別の交通手段（自家用車以外）を使う」（8.2%）、「必要性を感じない・機会がない」（7.2%）となっている。
- 「自家用車を利用する」（n=119）のうち、将来的には利用する（または可能性がある）と回答している人は 10.9%（n=13）であった。
- 「必要性を感じない・機会がない」（n=15）のうち、将来的には利用する（または可能性がある）と回答している人は 26.7%（n=4）であった。

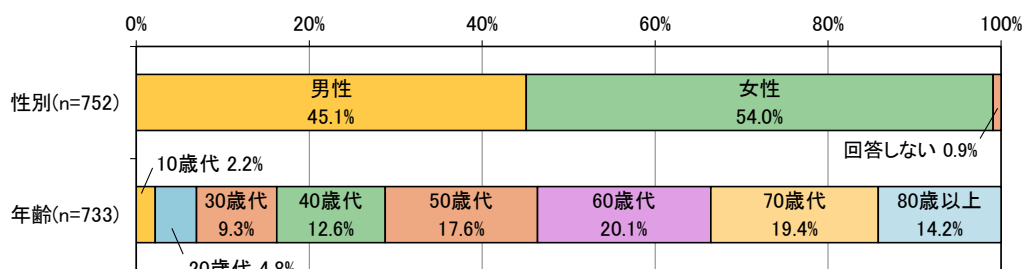


4. 単純集計結果（コミュニティバス非運行地域）

(1) あなた自身のことについて

① 性別・年齢

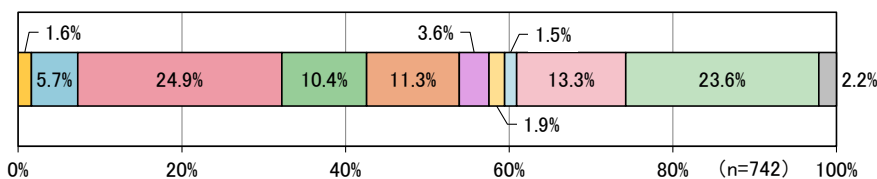
- 性別は「女性」が54.0%と「男性」よりも多く、過半数である。
- 年齢は「60歳代」が20.1%で最も多く、以下、「70歳代」（19.4%）、「50歳代」（17.6%）となっている。



② 主な職業

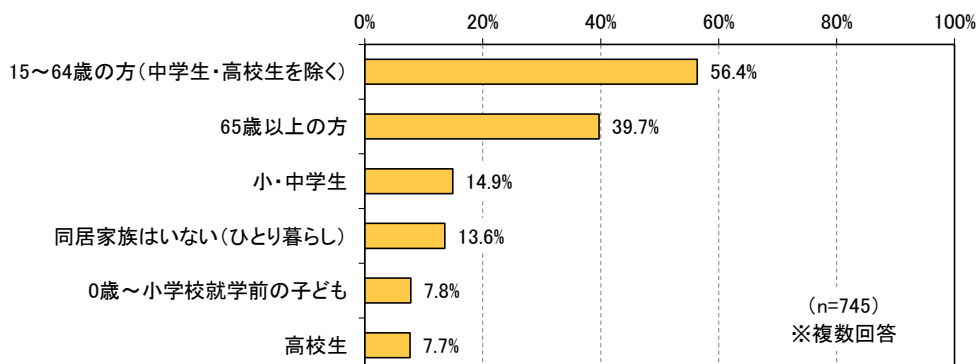
- 「民間企業（常勤）」が24.9%で最も多く、以下、「無職」（23.6%）、「専業主婦（主夫）」（13.3%）、「公務員及びそれに準ずる団体職員など（常勤）」（11.3%）となっている。

- 自営業（農林漁業）
- 自営業（農林漁業以外）
- 民間企業（常勤）
- 民間企業（パート・アルバイト）
- 公務員及びそれに準ずる団体職員など（常勤）
- 公務員及びそれに準ずる団体職員など（嘱託・臨時・パート）
- 大学生・短大生・高専生・専門学校生
- 高校生
- 専業主婦（主夫）
- 無職
- その他



③ 同居の家族

- 「15～64歳の方（中学生・高校生を除く）」が56.4%で最も多く、以下、「65歳以上の方」（39.7%）、「小・中学生」（14.9%）となっている。



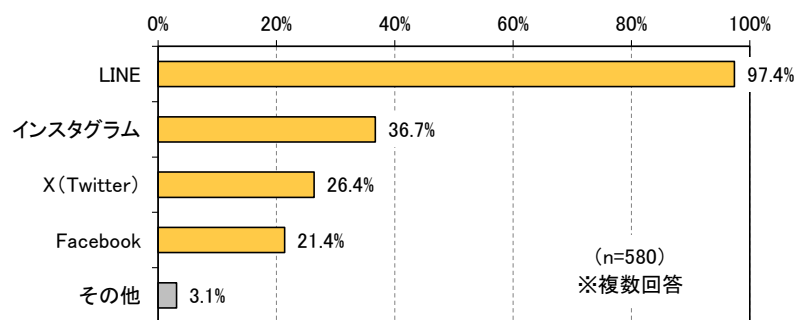
④ お住まい

●

集計中

⑤ 現在利用している SNS（携帯電話を持っている人）

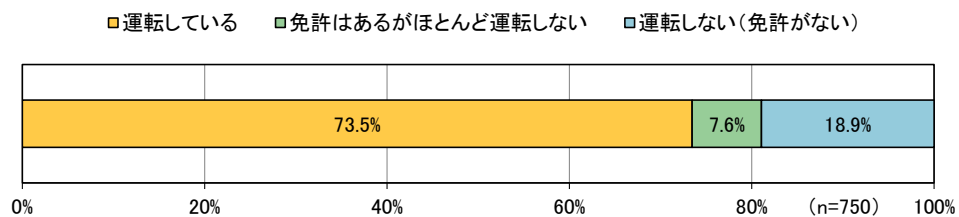
- 「LINE」が97.4%で突出して多く、以下、「Instagram」（36.7%）、「X（Twitter）」（26.4%）、「Facebook」（21.4%）となっている。



※SNSに当てはまらない回答（チャットツール、機種名等）は除外

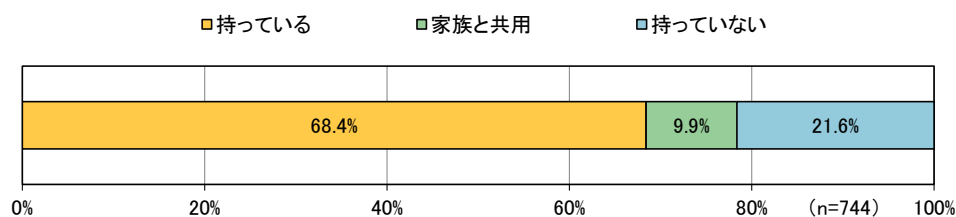
⑥ 日常的に自動車の運転をしているか

- 「運転している」が73.5%で最も多く、以下、「運転しない（免許がない）」（18.9%）、「免許はあるがほとんど運転しない」（7.6%）となっている。



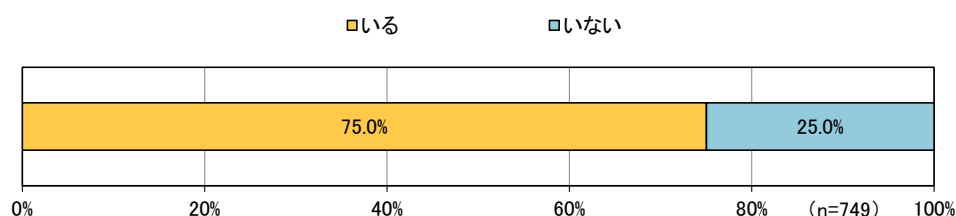
⑦ 自分が自由に使用できる車を持っているか

- 「持っている」が68.4%で最も多く、以下、「持っていない」(21.6%)、「家族と共用」(9.9%)となっている。



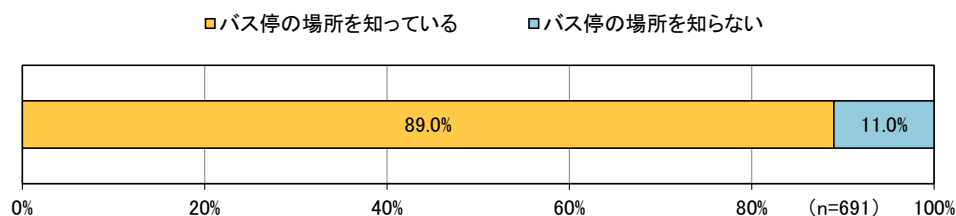
⑧ 普段、家族や身近な人など送迎を頼める人がいるか

- 家族や身近な人など送迎を頼める人がいる人は、全体の4分の3であった。



⑨ 自宅の最寄りのバス停の場所を知っているか

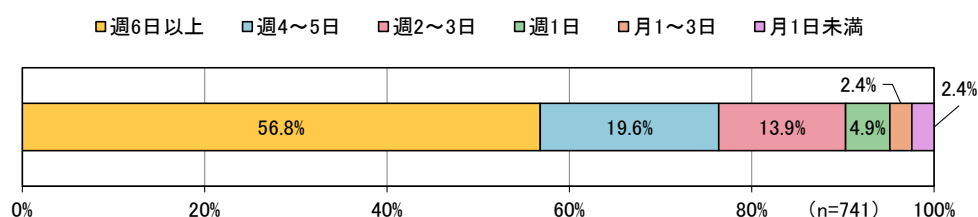
- 自宅の最寄りのバス停の場所を知っている人は、約9割である。



(2) 普段の交通行動などについて

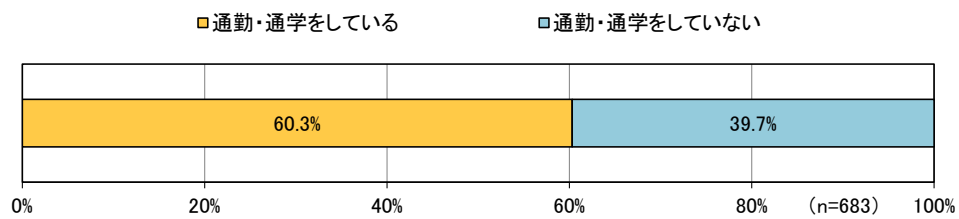
① 通勤・通学や買い物、通院など、普段の生活でどの程度外出しているか

- 「週6日以上」が56.8%で最も多く、以下、「週4～5日」(19.6%)、「週2～3日」(13.9%)となっている。



② 通勤・通学をしているか

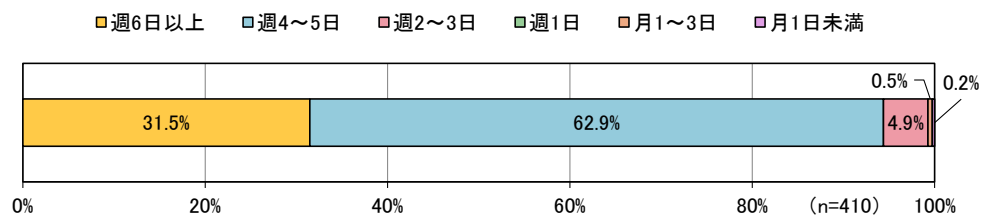
- 通勤・通学をしている人は、約6割であった。



③ 普段の通勤・通学について（通勤・通学をしている人）

i) 通勤・通学の頻度

- 「週4～5日」が62.9%で最も多く、以下、「週6日以上」（31.5%）、「週2～3日」（4.9%）となっている。



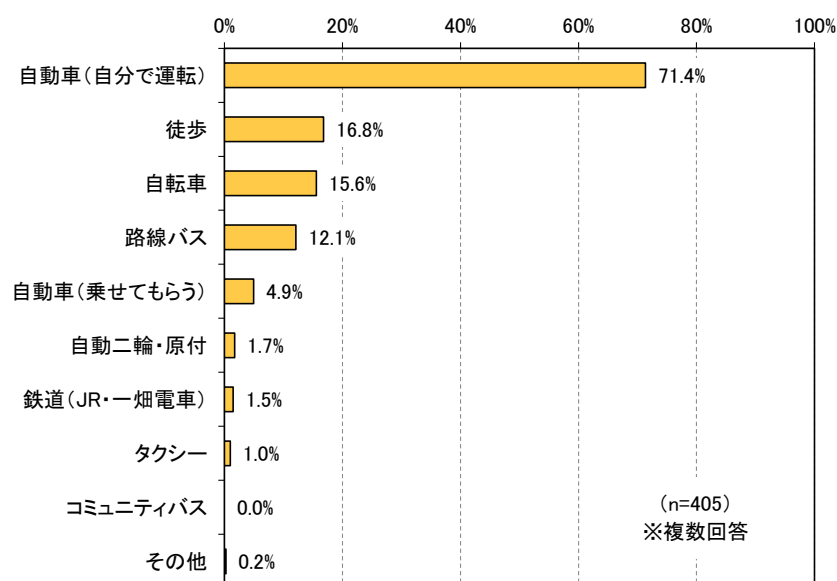
※「週1回」は回答数が0であった。

ii) 通勤・通学先の所在地

集計中

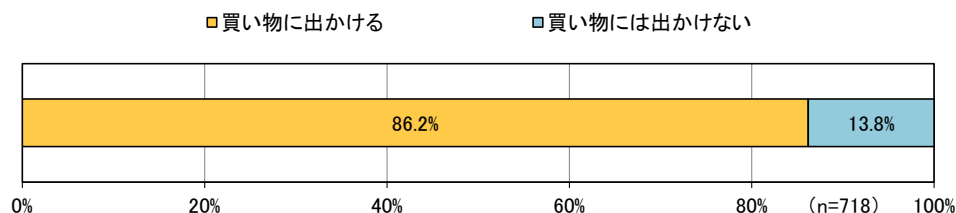
iii) 通勤・通学時の利用交通手段

- 「自動車（自分で運転）」が 71.4%で突出して多く、以下、「徒歩」（16.8%）、「自転車」（15.6%）となっている。



④ 日常的に食料品や日用品の買い物に出かけるか

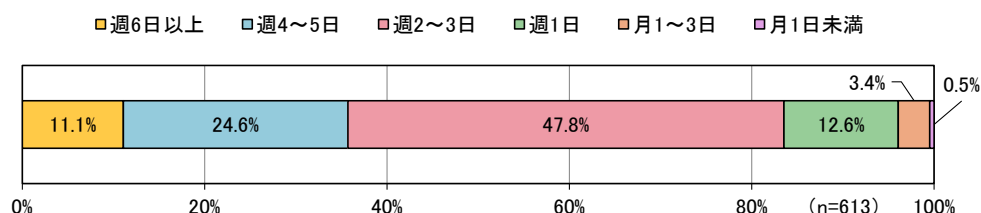
- 日常的に食料品や日用品の買い物に出かける人は、8割を超えている。



⑤ 普段の買い物について（日常的に食料品や日用品の買い物に出かける人）

i) 買い物に行く頻度

- 「週 2～3 日」が 47.8%で最も多く、以下、「週 4～5 日」（24.6%）、「週 1 日」（12.6%）となっている。

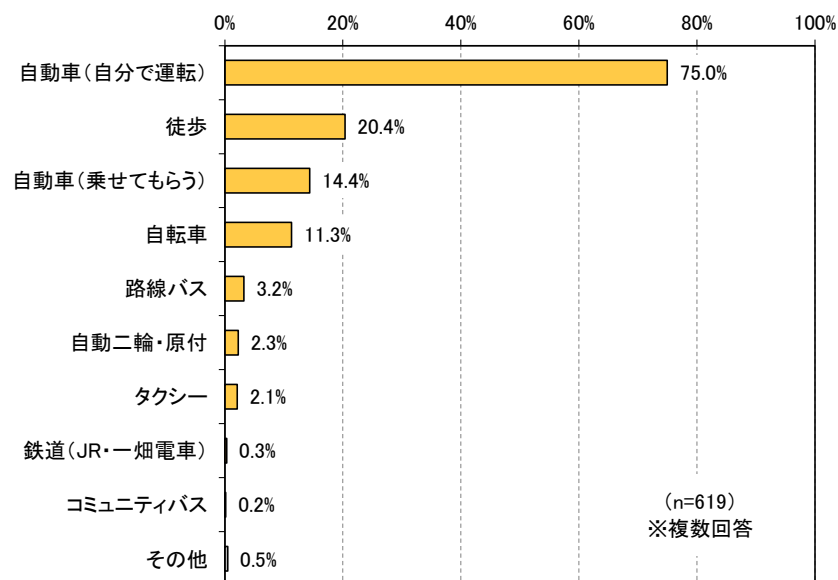


ii) 最もよく行く買い物先

集計中

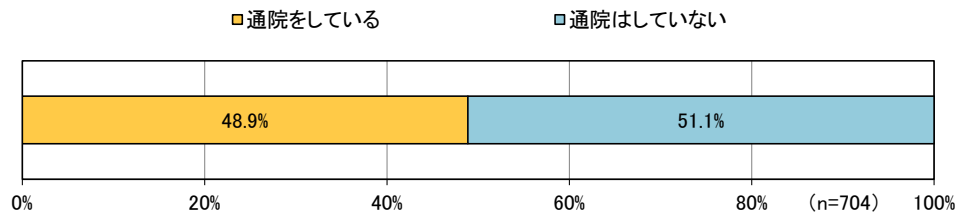
iii) 買い物の際の利用交通手段

- 「自動車（自分で運転）」が 75.0%で突出して多く、以下、「徒歩」（20.4%）、「自動車（乗せてもらう）」（14.4%）となっている。



⑥ 日常的に通院をするか

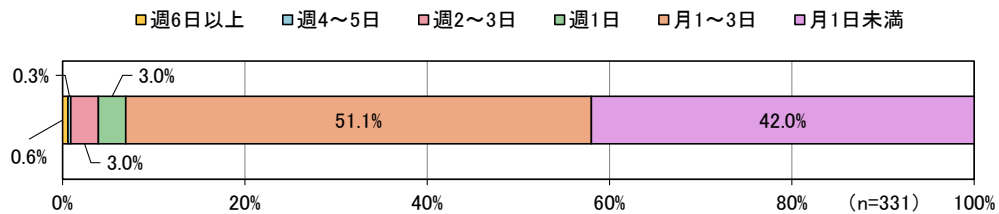
- 日常的に通院をしている人は48.9%で、半数より若干少ない。



⑦ 普段の通院について（日常的に通院をしている人）

i) 通院の頻度

- 「月 1～3 日」が 51.1%で最も多く、以下、「月 1 日未満」（42.0%）、「週 1 日」と「週 2～3 日」（3.0%）となっている。

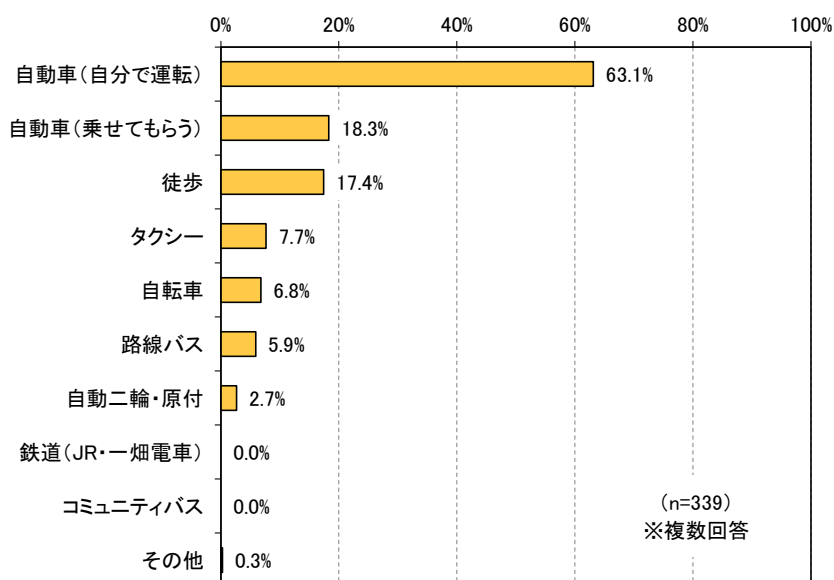


ii) 最もよく行く医療機関

集計中

iii) 通院の際の利用交通手段

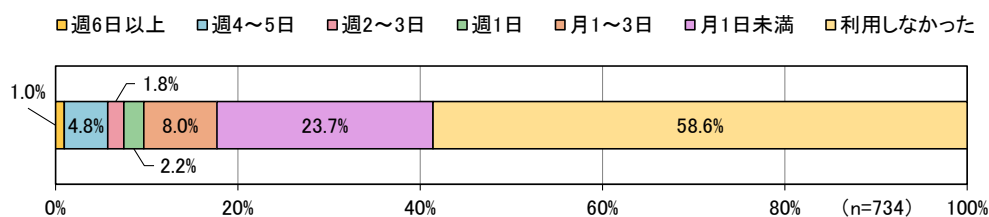
- 「自動車（自分で運転）」が 63.1%で最も多く、以下、「自動車（乗せてもらう）」（18.3%）と、自動車で移動する人が多くなっている。
- 自動車以外の交通手段では、「徒歩」が 17.4%で最も多く、以下、「路線バス」が 5.9%となっている。



(3) 市内路線バス（一畑バス・松江市交通局）の利用状況と満足度について

① 過去1年の間に、市内路線バスをどの程度利用したか

- 「利用しなかった」が 58.6%で最も多く、以下、「月1日未満」（23.7%）、「月1～3日」（8.0%）となっている。



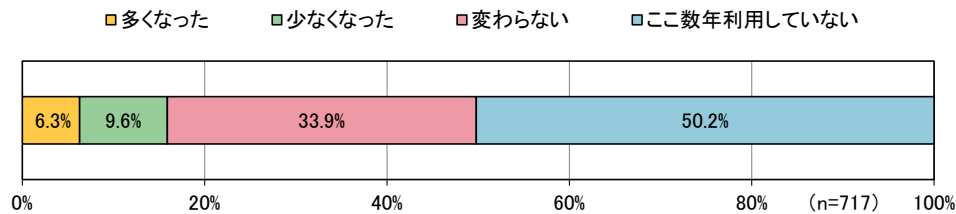
② 主に利用する市内路線バスの区間（過去1年の間に利用したことがある人）

集計中

③ ここ数年間の市内路線バスの利用の変化

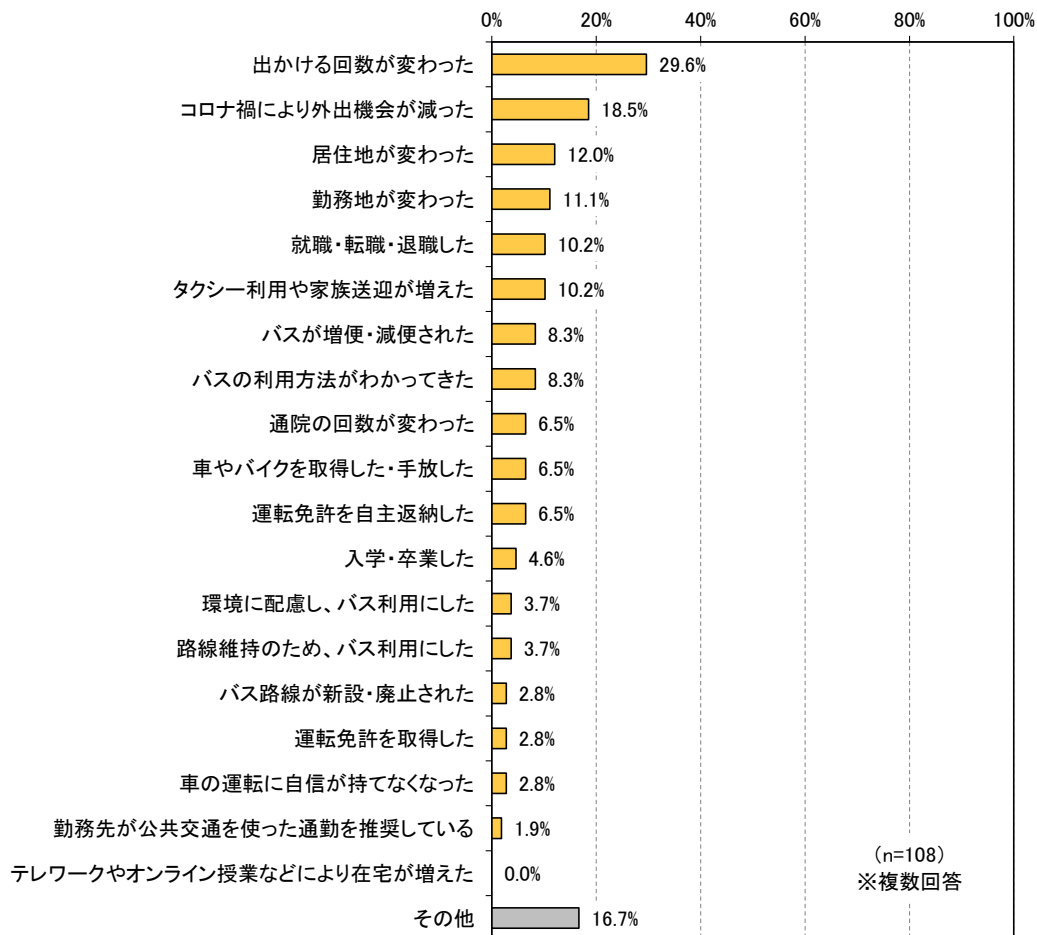
i) ここ数年の間に、市内路線バスの利用頻度が変化したか

- 「ここ数年利用していない」が 50.2%で最も多く、以下、「変わらない」（33.9%）、「少なくなった」（9.6%）、「多くなった」（6.3%）となっている。



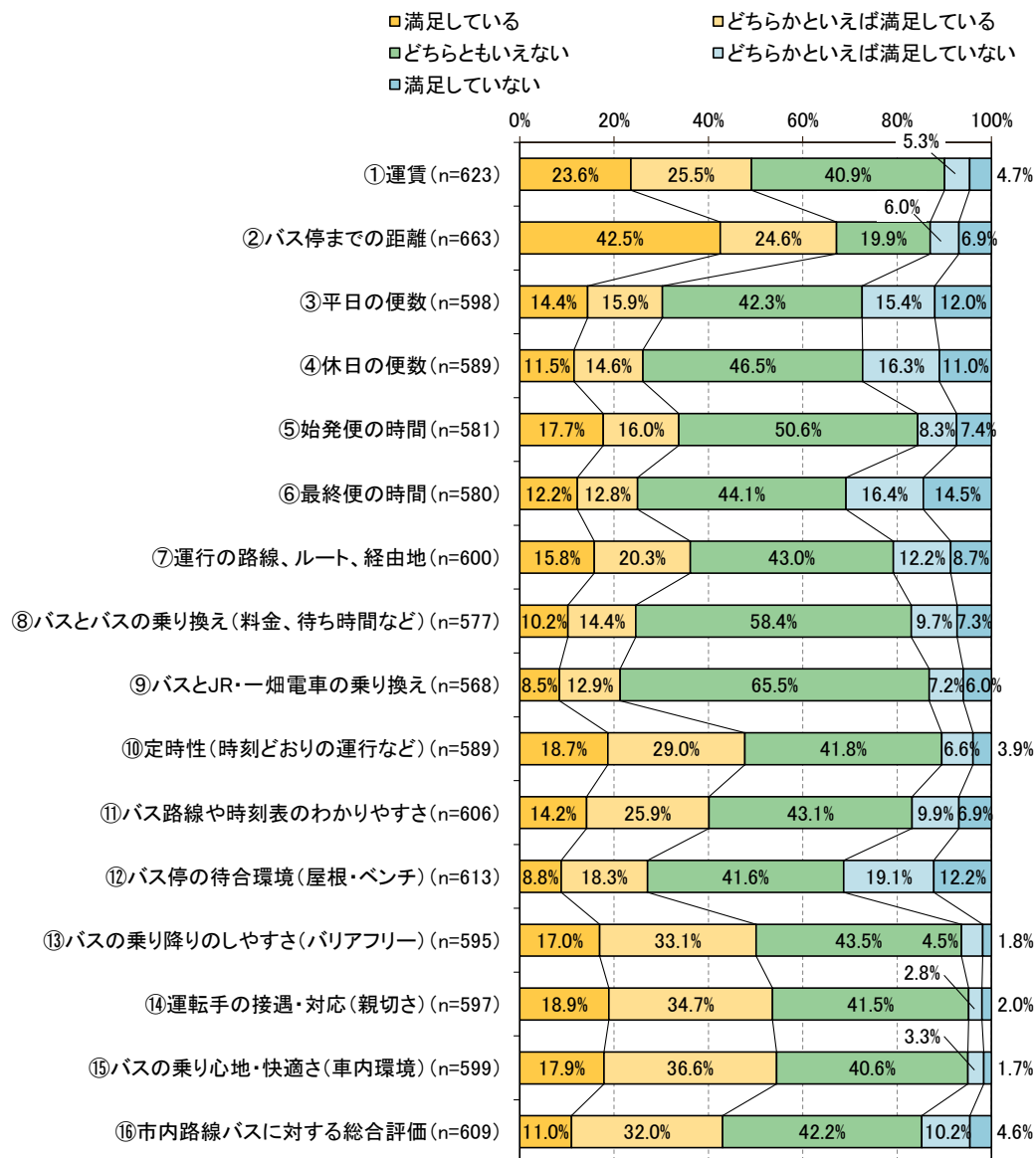
ii) 市内路線バスの利用頻度が変化した理由（利用頻度が多くなった人・少なくなった人）

- 「出かける回数が変わった」が 29.6%で最も多く、以下、「コロナ禍により外出機会が減った」（18.5%）、「居住地が変わった」（12.0%）となっている。



④ 市内路線バスの満足度

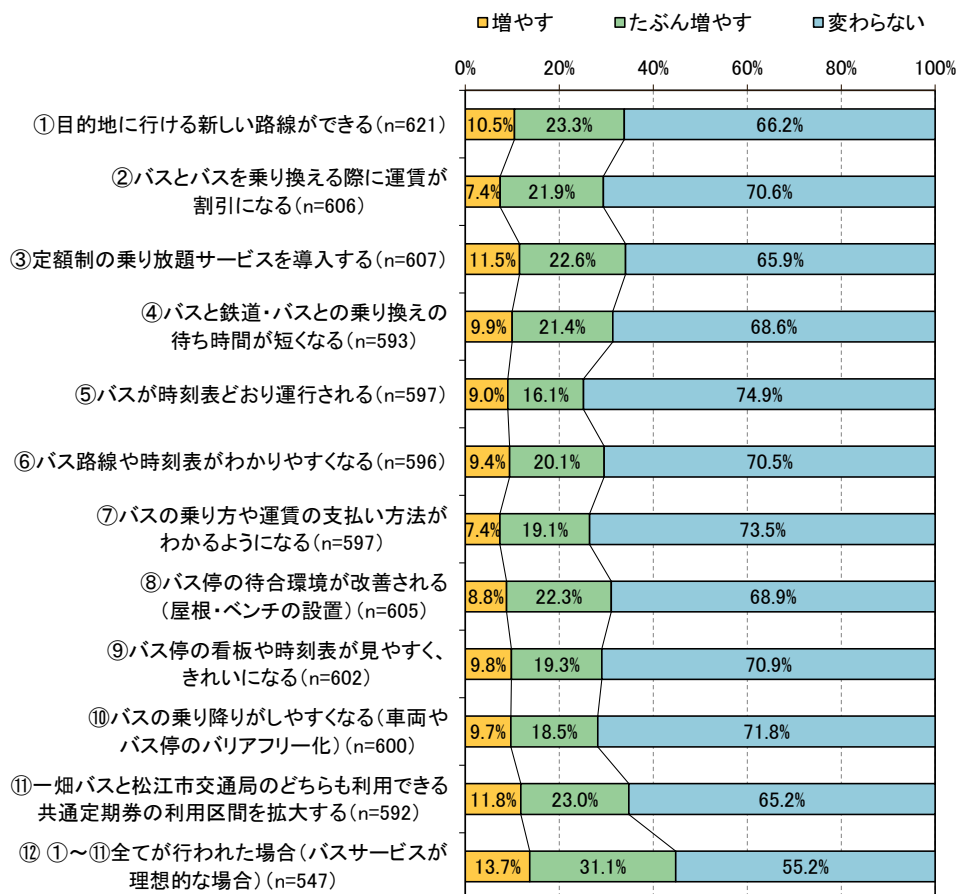
- 満足度が高い（「満足」と「どちらかといえば満足している」を足した値が高い）項目は、「②バス停までの距離」が67.1%で最も高く、以下、「⑮バスの乗り心地・快適さ（車内環境）」（54.5%）、「⑭運転手の接遇・対応（親切さ）」（53.6%）となっている。
- 満足度が低い（「満足していない」と「どちらかといえば満足していない」を足した値が高い）項目は、「⑫バス停の待合環境（屋根・ベンチ）」が31.3%で最も高く、以下、「⑥最終便の時間」（30.9%）、「③平日の便数」（27.3%）となっている。



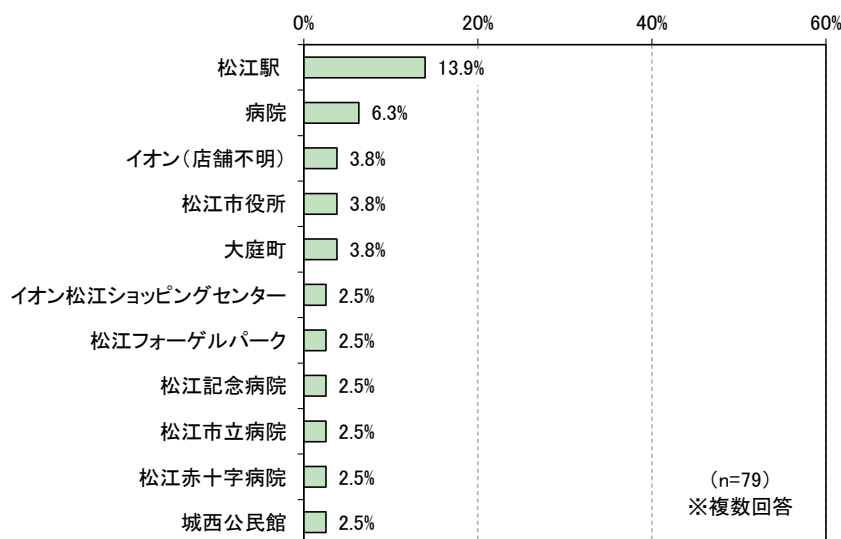
(4) 市内路線バス（一畑バス・松江市交通局）の施策やサービスについて

① 市内路線バスのサービスが改善された場合、バスの利用を増やすと思うか

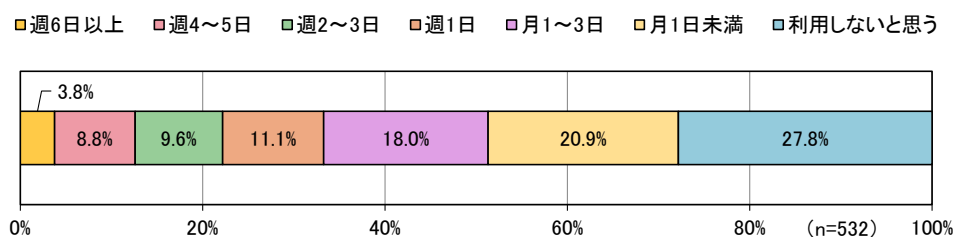
- 「増やす」と「たぶん増やす」を足した値が高い項目は、「⑪一畑バスと松江市交通局のどちらも利用できる共通定期券の利用区間を拡大する」が34.8%で最も高く、以下、「③定額制の乗り放題サービスを導入する」（34.1%）、「①目的地に行ける新しい路線ができる」（33.8%）となっている。



- 「①目的地に行ける新しい路線ができる」の、バスで行きたい目的地の名称
 - 「松江駅」が13.9%で最も多く、以下、病院や買い物に関する回答が多く見られる。



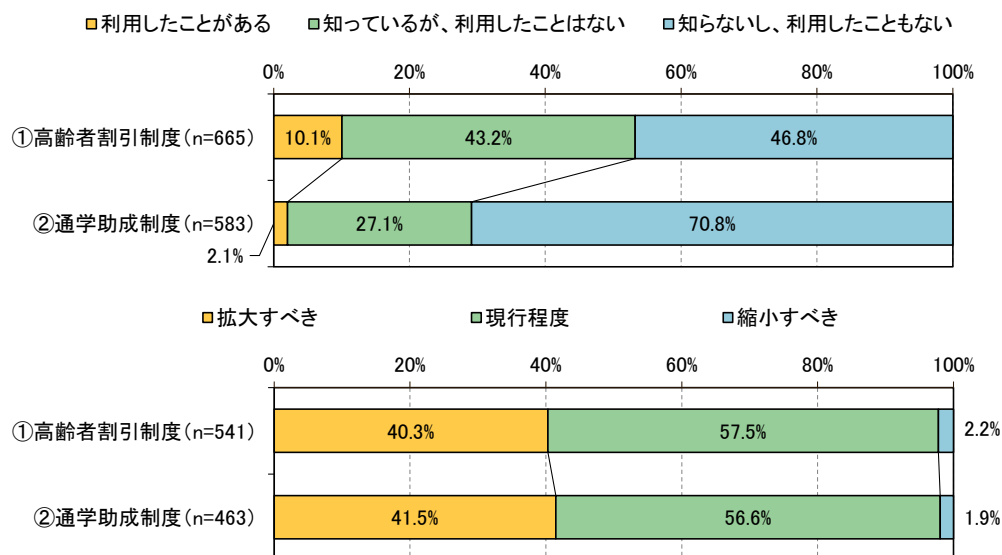
- 「②バスとバスを乗り換える際に運賃が割引になる」の、一乗車につき割引される希望金額（平均）は82.3円（n=83）で、他に「半額」「10%」「30%」（各n=1）の回答があった。
 - 「③定額制の乗り放題サービスを導入する」の、一か月あたり希望金額（平均）は、2,553.8円（n=8）であった。
 - 「④バスと鉄道・バスとの乗り換えの待ち時間が短くなる」の、待ち時間の許容範囲（平均）は、13.3分（n=143）であった。
 - 「⑤バスが時刻表どおり運行される」の、遅れ時間の許容範囲（平均）は、7.2分（n=161）であった。
- ⑫ 「①～⑪全てが行われた場合（バスサービスが理想的な場合）」で、バスサービスが理想的な場合、どのくらいバスを利用すると思うか
- 「利用しないと思う」が27.8%で最も多く、以下、「月1日未満」（20.9%）、「月1～3日」（18.0%）となっている。



② 市内路線バスで実施している施策・サービスを利用（参加）したことがあるか

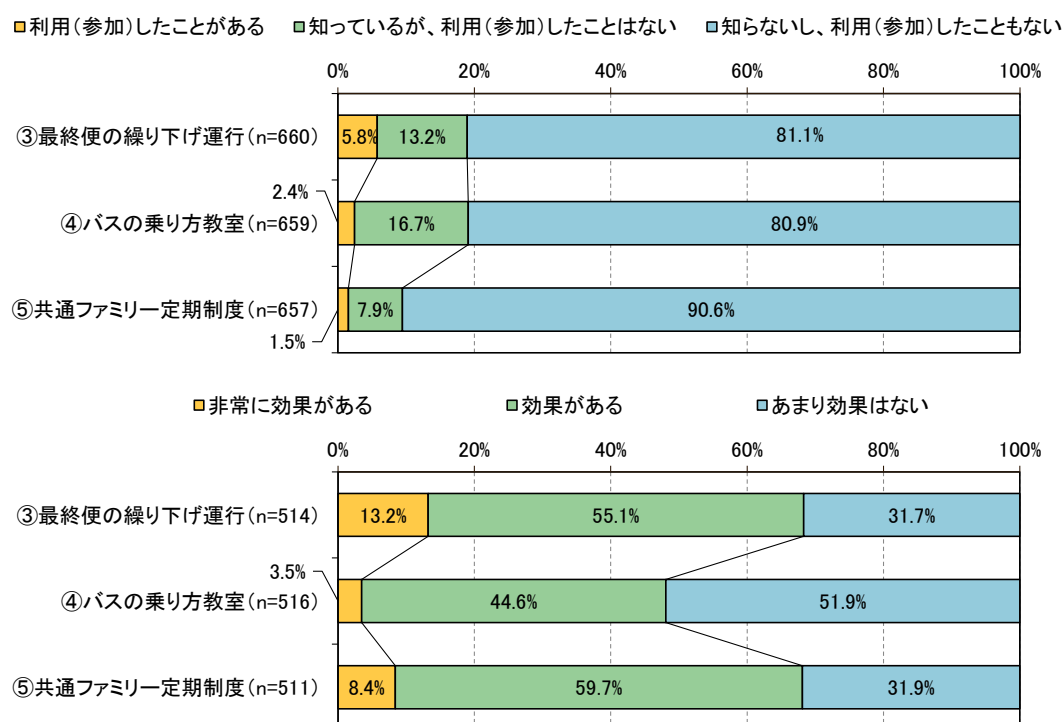
i) 高齢者割引制度、通学助成制度

- 「知らないし、利用したこともない」と回答した人は「①高齢者割引制度」で 46.8%、「②通学助成制度」で 70.8%であった。
- 「サービスを拡大すべき」と回答した人は、「①高齢者割引制度」で 40.3%、「②通学助成制度」で 41.5%であった。



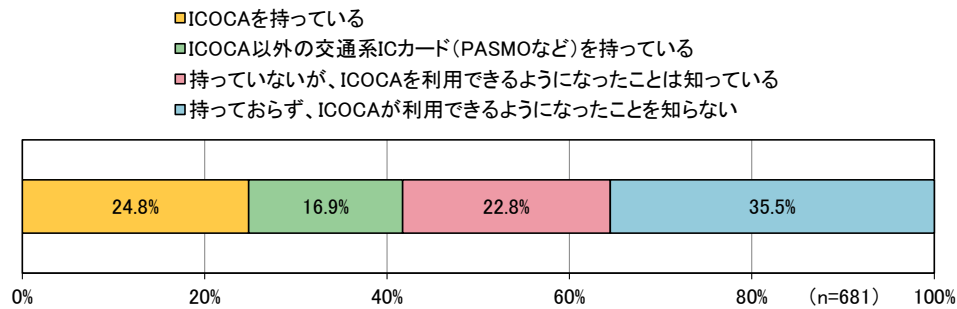
ii) 最終便の繰り下げ運行、バスの乗り方教室、共通ファミリー定期制度

- 「③最終便の繰り下げ運行」、「④バスの乗り方教室」、「⑤共通ファミリー定期制度」のいずれも、「知らないし、利用（参加）したこともない」と回答した人が8割を超えている。
- 「利用促進に非常に効果がある」、「利用促進に効果がある」と回答した人は、「③最終便の繰り下げ運行」で 68.3%、「④バスの乗り方教室」で 48.1%、「⑤共通ファミリー定期制度」で 68.1%であった。



③ 交通系 IC カードを持っているか

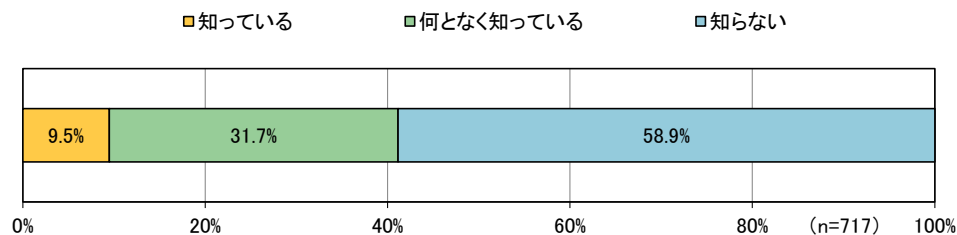
- 交通系 IC カードを持っている人（「ICOCA を持っている」「ICOCA 以外の交通系 IC カード（PASMO など）を持っている」）は、41.7%であった。



④ 「松江市公共交通利用促進市民会議」の取り組みについて

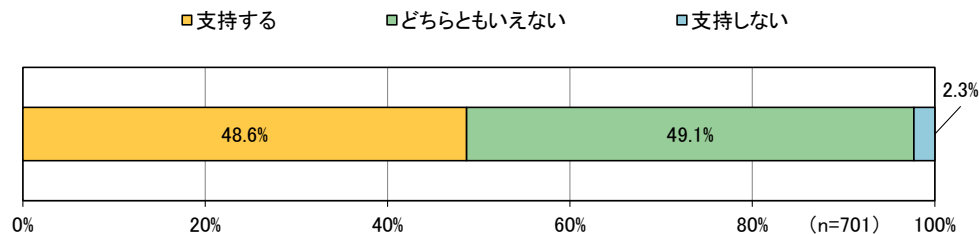
- 「松江市公共交通利用促進市民会議」による、バス路線の維持や利用促進の取り組みが行われていることを知っているか

- 「知らない」が、約6割となっている。



- 「松江市公共交通利用促進市民会議」の取り組みについて、どう思うか

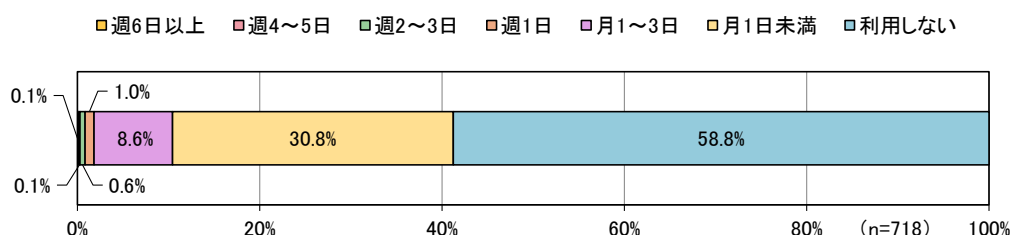
- 「支持する」が48.6%、「どちらともいえない」が49.1%で、同じくらいとなっている。



(5) 市内を運行するタクシーの利用について

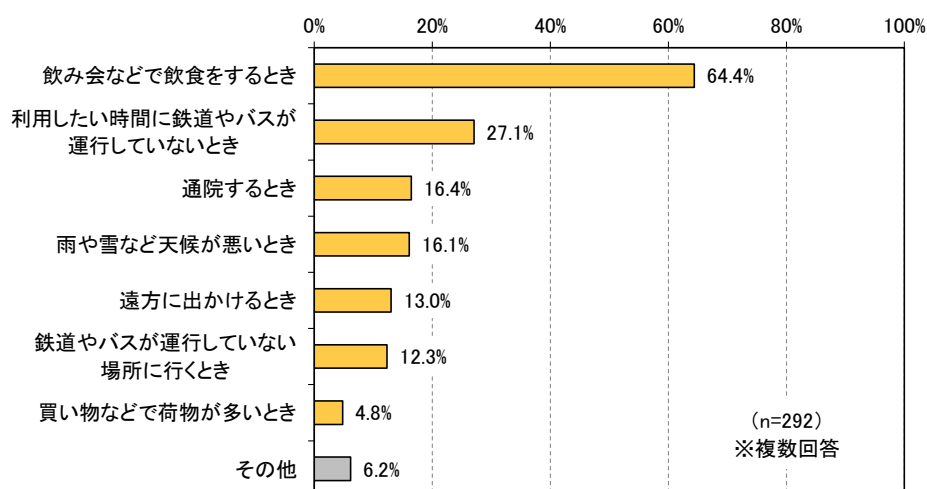
① 市内でタクシーを普段どのくらい利用するか

- 「利用しない」が58.8%で最も多く、以下、「月1日未満」(30.8%)、「月1～3日」(8.6%)となっている。



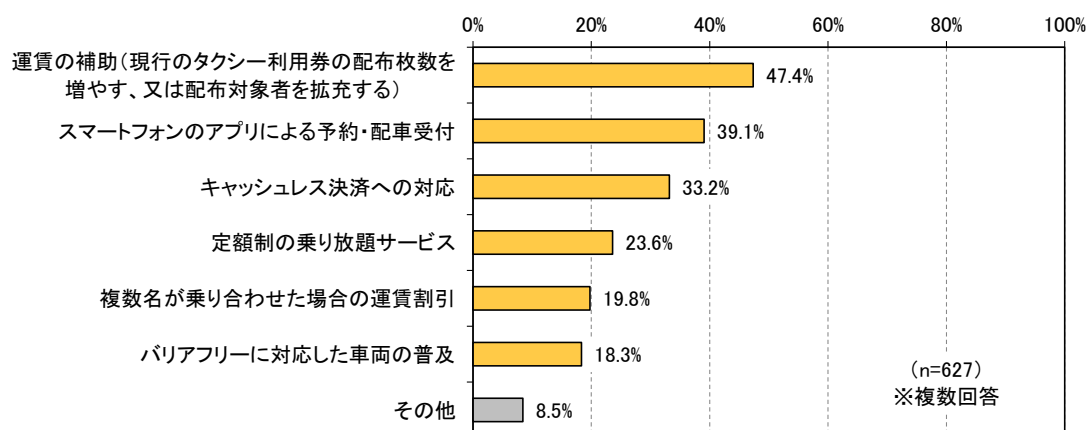
② タクシーを利用する場面（普段タクシーを利用する人）

- 「飲み会などで飲食するとき」が64.4%で最も多く、以下、「利用したい時間に鉄道やバスが運行していないとき」（27.1%）、「通院するとき」（16.4%）となっている。



③ タクシーを今より便利にするために、必要だと思うこと

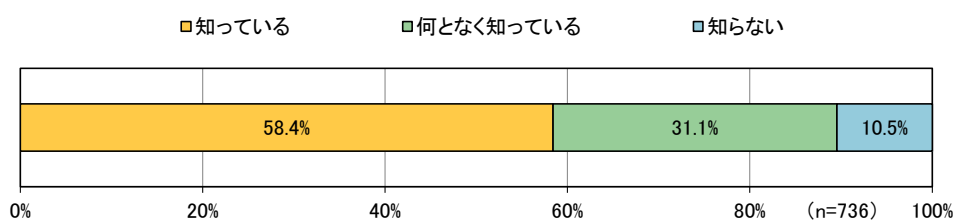
- 「運賃の補助（現行のタクシー利用券の配布枚数を増やす、又は配布対象者を拡充する）」が47.4%で最も多く、以下、「スマートフォンのアプリによる予約・配車受付」（39.1%）、「キャッシュレス決済への対応」（33.2%）となっている。



(6) 松江市の公共交通のあり方について

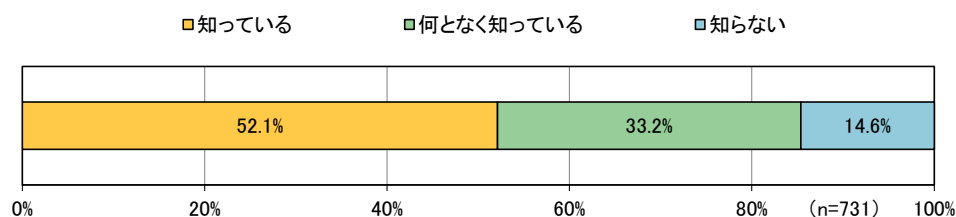
① 全国的に路線バス運転士が不足していることを知っているか

- 「知っている」と回答した人は、半数を超えている。



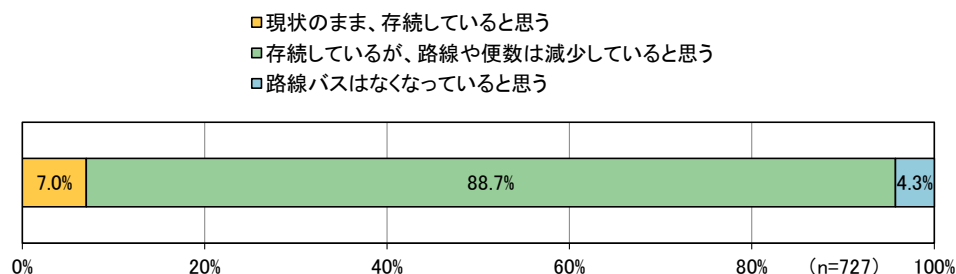
② 路線バス運転士の慢性的な不足は、バス路線の廃止や減便の大きな要因となっているか
知っているか

- 「知っている」と回答した人は、半数を超えている。



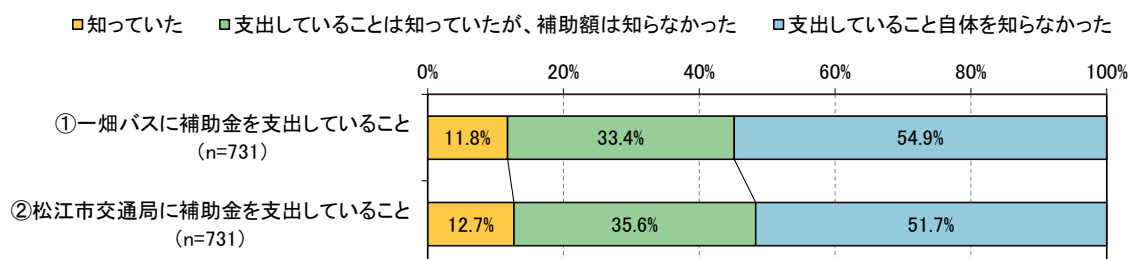
③ 10年後の市内路線バスはどうなっていると思うか

- 「存続しているが、路線や便数は減少していると思う」が88.7%で突出して多く、「現状のまま、存続していると思う」は4.3%にとどまっている。



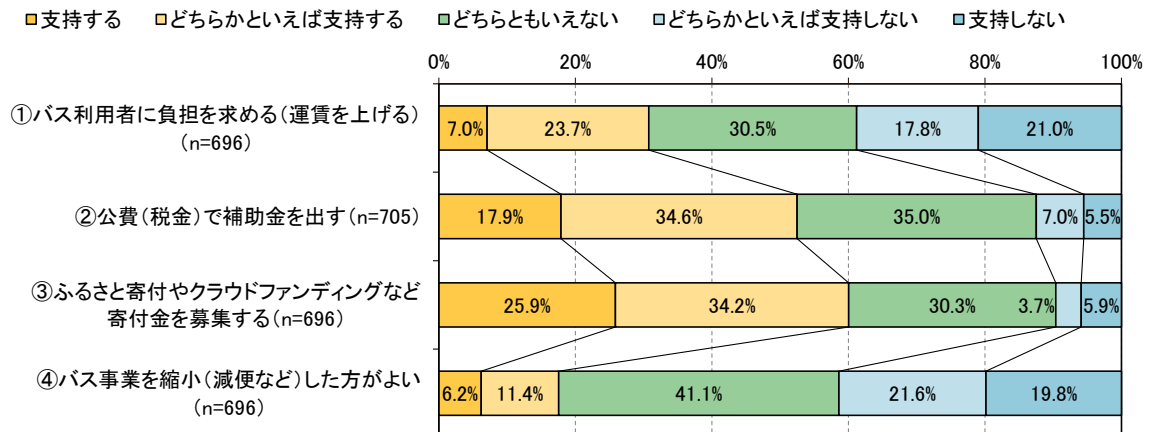
④ 補助金を支出していることを知っているか

- 一畑バス、松江市交通局ともに、補助金を支出していること自体を知らなかった人が、半数を超えている。



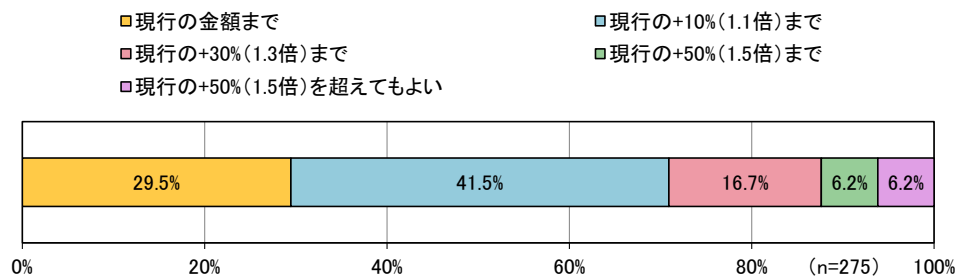
⑤ 赤字の市内路線バスを維持するための方法について、支持をするか

- 「①バス利用者に負担を求める（運賃を上げる）」は、「支持しない」（17.8%）と「どちらかといえば支持しない」（21.0%）と回答した人が 38.8%と、約 4 割となっている。
- 「②公金（税金）で補助金を出す」は、「支持する」（17.9%）と「どちらかといえば支持する」（34.6%）と回答した人が 52.5%と、過半数となっている。
- 「③ふるさと寄付やクラウドファンディングなど寄付金を募集する」は、「支持する」（25.9%）と「どちらかといえば支持する」（34.2%）と回答した人が 6 割となっている。
- 「④バス事業を縮小（減便など）した方がよい」は、「どちらともいえない」が 41.1%で最も多くなっている。



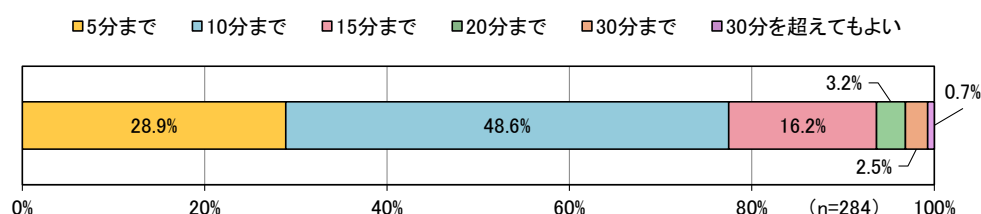
⑥ 主に利用する区間の市内路線バスの運賃を値上げする場合、どのくらいまでの増額であれば利用を続けることができるか（過去 1 年の間に市内路線バスを利用したことがある人）

- 「現行の+10%（1.1 倍）まで」が 29.5%で最も多く、以下、「現行の金額まで」（29.5%）、「現行の+30%（1.3 倍）まで」（16.7%）となっている。



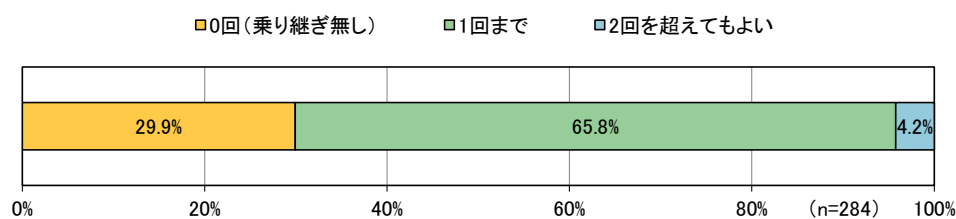
⑦ 自宅や目的地の近くのコミュニティバスのバス停が廃止され、最寄りのバス停までの移動時間が長くなった場合、最大で徒歩何分までなら受け入れることができるか（過去 1 年の間に市内路線バスを利用したことがある人）

- 「10 分まで」が 48.6%で最も多く、以下、「5 分まで」（28.9%）、「15 分まで」（16.2%）となっている。



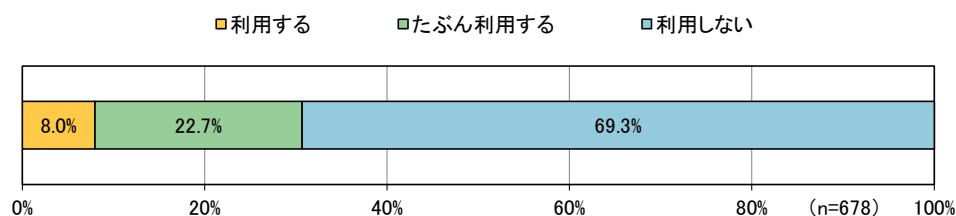
⑧ 主に利用する路線の運行区間の見直しによって、目的地までの移動に乗り継ぎが必要となった場合、乗継回数がどれくらいまでなら受け入れることができるか

- 「1回まで」が6割を超えている。



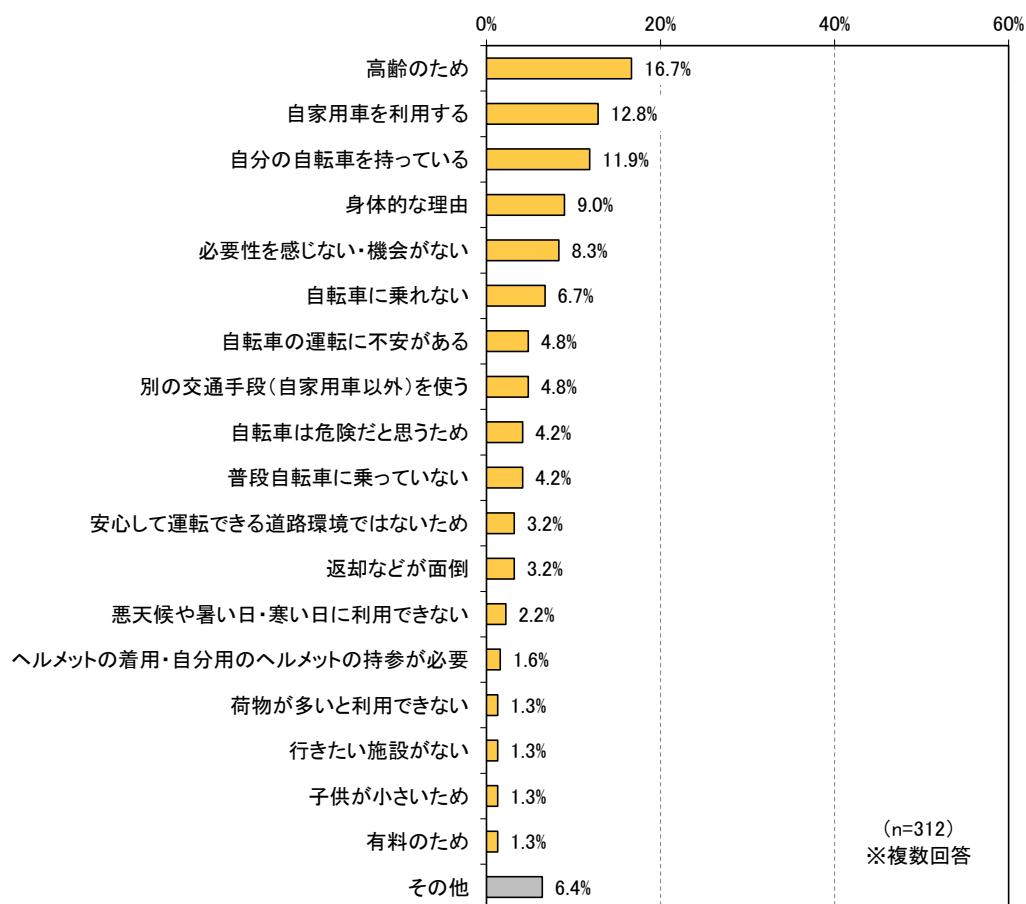
⑨ レンタサイクル（貸し自転車）について

- 「利用しない」と回答した人が、約7割となっている。
- 「利用する」と回答した人の、1回当たりの希望金額（平均）は、356.4円（n=47）で、他に「1日1,000円」と回答した人が1名いた。



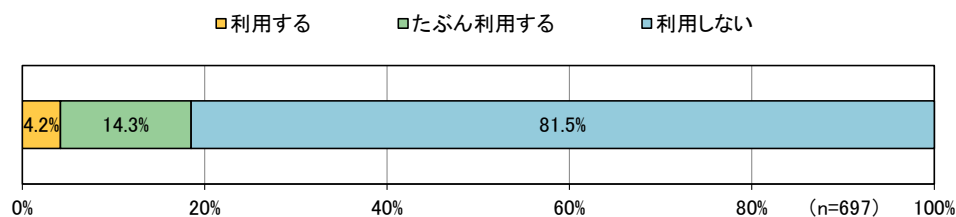
● 「利用しない」と回答した人の、利用しない理由

- 「高齢のため」が 16.7%で最も多く、以下、「自家用車を利用する」(12.8%)、「自分の自転車を持っている」(11.9%)となっている。



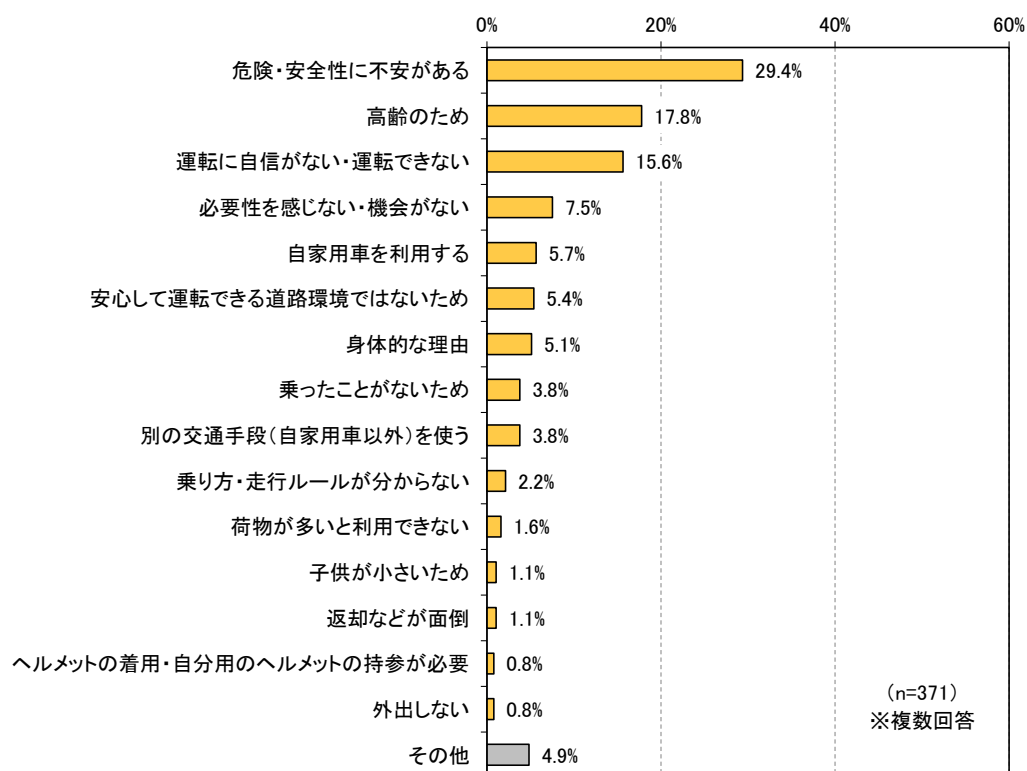
⑩ 電動キックボードについて

- 「利用しない」と回答した人が8割以上となっている。
- 「利用する」と回答した人の、1回当たりの希望金額(平均)は、462.5円(n=20)であった。



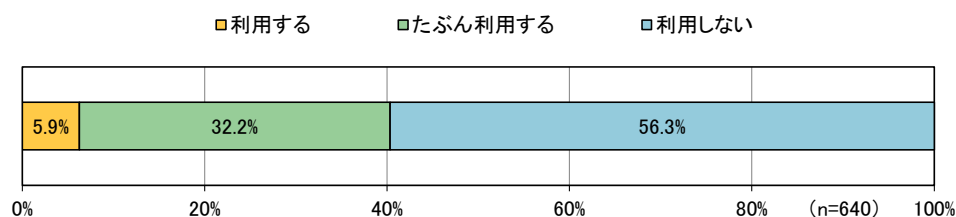
● 「利用しない」と回答した人の、利用しない理由

- 「危険・安全性に不安がある」が 29.4%で最も多く、以下、「高齢のため」(17.8%)、「運転に自信がない・運転できない」(15.6%)となっている。

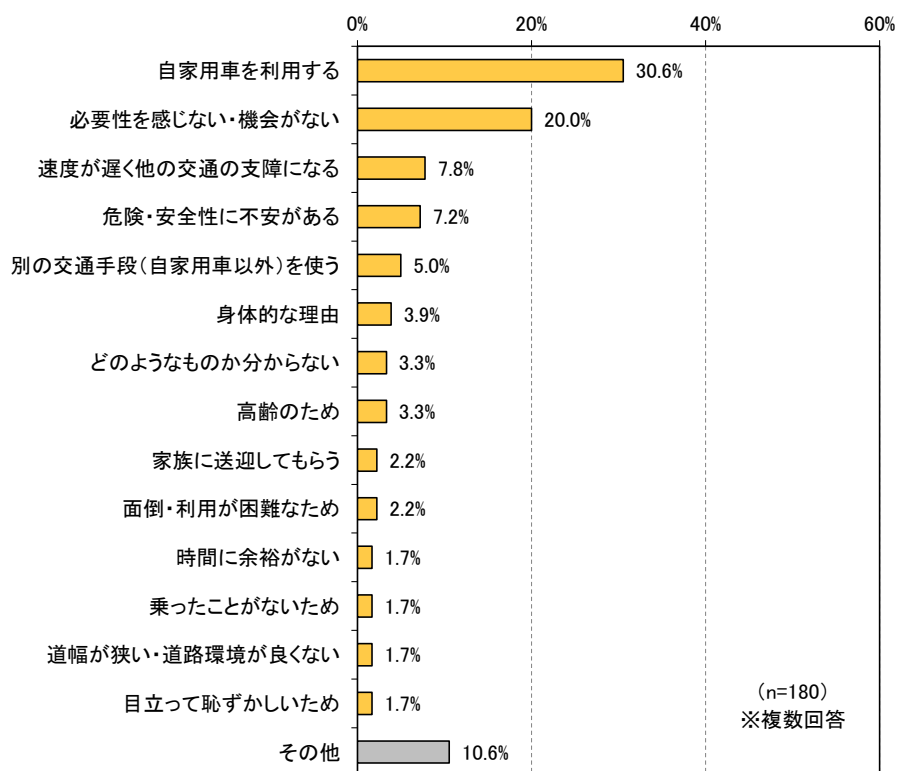


⑪ グリーンスローモビリティについて

- 「利用しない」と回答した人が半数を超えている。
- 「利用する」と回答した人の、1回当たりの希望金額(平均)は、267.2円(n=32)で、他に「バスと同額」(n=1)の回答があった。



- 「利用しない」と回答した人の、利用しない理由
 - 「自家用車を利用する」が 30.6%で最も多く、以下、「必要性を感じない・機会がない」(20.0%)、「速度が遅く他の交通の支障になる」(7.8%)となっている。

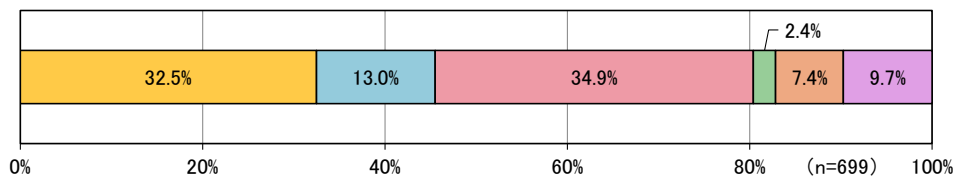


※「運転に自信がない」等、自分が運転する前提の回答は「その他」に含めている。

⑫ 自身の今後の自動車の運転（運転免許証の返納）について

- 「身体能力が衰えたと感じたら運転をやめたい（免許を返納したい）」が 34.9%で最も多く、以下、「今後も運転する」(32.5%)、「できるだけ長く運転したい（免許返納の予定はない）」(13.0%)となっている。

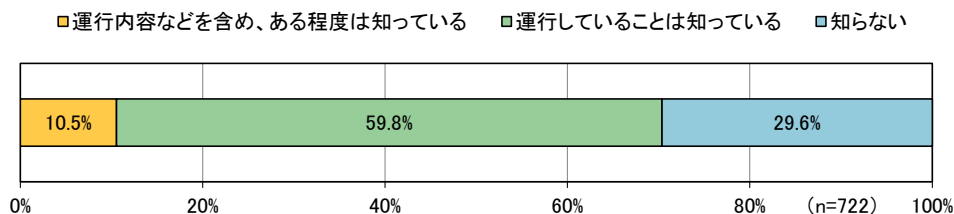
- 今後も運転する
- できるだけ長く運転したい(免許返納の予定はない)
- 身体能力が衰えたと感じたら運転をやめたい(免許を返納したい)
- 運転をやめたい(免許を返納したい)が、代替移動手段がなく、そうすることができない
- 運転免許証はすでに返納した
- 運転免許証はこれまで取得したことがない



(7) コミュニティバスについて

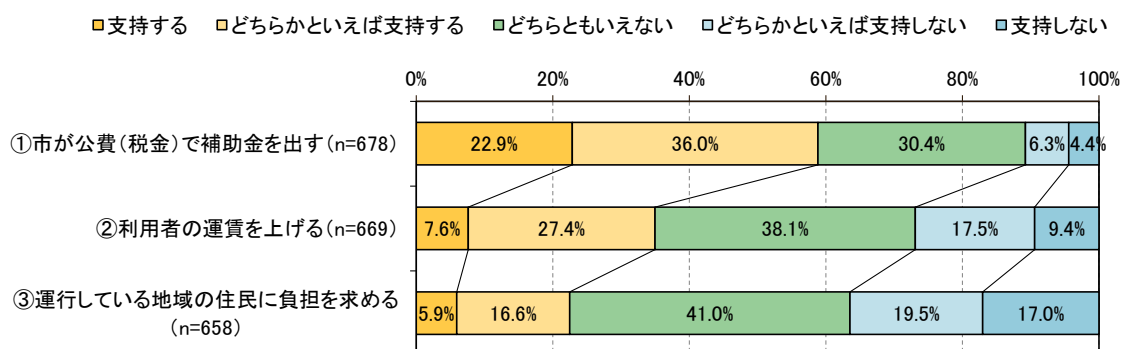
① 市内で運行しているコミュニティバスを知っているか

- 「運行内容などを含め、ある程度は知っている」（10.5%）と「運行していることは知っている」（59.8%）を合わせると、コミュニティバスを知っている人は7割となっている。



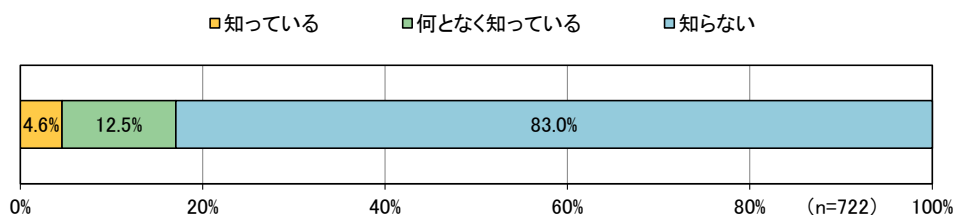
② コミュニティバスを維持するための方法について、支持をするか

- 「①市が公費（税金）で補助金を出す」は、「支持する」（22.9%）と「どちらかといえば支持する」（36.0%）と回答した人が58.9%と、6割近くとなっている。
- 「②利用者の運賃を上げる」は、「支持する」（7.6%）と「どちらかといえば支持する」（27.4%）と回答した人が35.0%となっている。
- 「③運行している地域の住民に負担を求める」は、「支持する」（5.9%）と「どちらかといえば支持する」（16.6%）と回答した人が22.5%となっている。



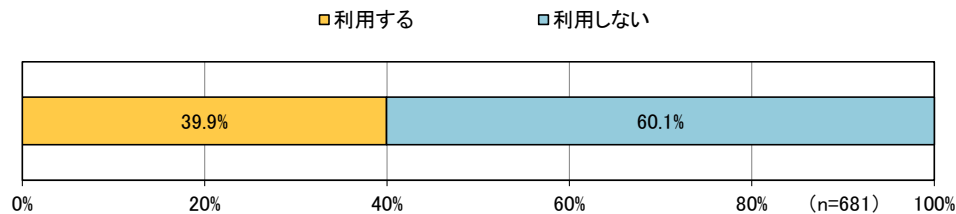
③ 本年4月に松江市八束地区に導入されたAI（人工知能）を用いたバスとタクシーの中間的な乗り物（デマンドバス）を知っているか

- 「知らない」と回答した人が8割を超えている。



④ 自宅近くと最寄りの駅・バス停や通院・買い物先との間を運行するAI デマンドバスがあれば利用するか

- 「利用しない」と回答した人が6割となっている。
- 「利用する」と回答した人の、1回当たりの希望金額（平均）は、255.3 円（n=203）であった。



- 「利用しない」と回答した人の、利用しない理由
 - 「自家用車を利用する」が 39.9%で最も多く、以下、「必要性を感じない・機会がない」(18.9%)、「別の交通手段(自家用車以外)を使う」(15.5%)となっている。
 - 「自家用車を利用する」(n=95)のうち、将来的には利用する(または可能性がある)と回答している人は5.3%(n=4)であった。
 - 「必要性を感じない・機会がない」(n=45)のうち、将来的には利用する(または可能性がある)と回答している人は24.4%(n=11)であった。

